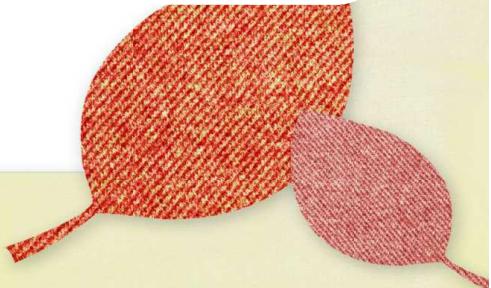


2023年



トンペイ
東北クラブ



成績結果

順位	チーム	試合数	勝点	勝	負	分	得点	失点	得失差
1	中新田SC	14	34	11	2	1	43	9	34
2	宮城教員クラブ	14	27	8	3	3	33	19	14
3	東北クラブ	14	25	8	5	1	34	20	14
4	東北クラブ ノスタルジア	14	22	7	6	1	24	26	-2
5	多賀城FC	14	21	7	7	0	27	31	-4
6	仙台中田SC	14	18	5	6	3	22	25	-3
7	塙釜FCヴィーゼ	14	11	3	9	2	21	42	-21
8	SC75	14	4	1	12	1	10	42	-32

第47回 宮城県サッカーリーグ1部成績表 2023

	仙台中田SC	東六クラブノスタルジア	多賀城FC	SC75	宮城教員クラブ	東北クラブ	中新田SC	塩釜FCヴィーゼ
仙台中田SC		1 - 3 ●	1 - 2 ●	4 - 2 ○	2 - 2 △	2 - 2 △	0 - 1 ●	1 - 1 △
		1 - 0 ○	0 - 1 ●	2 - 0 ○	0 - 3 ●	5 - 0 ○	0 - 7 ●	3 - 1 ○
東六クラブノスタルジア	3 - 1 ○		3 - 2 ○	2 - 0 ○	1 - 4 ●	2 - 5 ●	1 - 0 ○	2 - 1 ○
	0 - 1 ●		2 - 1 ○	2 - 3 ●	1 - 1 △	2 - 3 ●	1 - 3 ●	2 - 1 ○
多賀城FC	2 - 1 ○	2 - 3 ●		3 - 2 ○	0 - 5 ●	3 - 2 ○	1 - 2 ●	7 - 0 ○
	1 - 0 ○	1 - 2 ●		2 - 0 ○	2 - 1 ○	0 - 3 ●	0 - 6 ●	3 - 4 ●
SC75	2 - 4 ●	0 - 2 ●	2 - 3 ●		1 - 4 ●	0 - 5 ●	0 - 1 ●	1 - 3 ●
	0 - 2 ●	3 - 2 ○	0 - 2 ●		1 - 1 △	0 - 2 ●	0 - 6 ●	0 - 5 ●
宮城教員クラブ	2 - 2 △	4 - 1 ○	5 - 0 ○	4 - 1 ○		2 - 0 ○	0 - 3 ●	3 - 0 ○
	3 - 0 ○	1 - 1 △	1 - 2 ●	1 - 1 △		2 - 1 ○	1 - 7 ●	4 - 0 ○
東北クラブ	2 - 2 △	5 - 2 ○	2 - 3 ●	5 - 0 ○	0 - 2 ●		1 - 0 ○	2 - 1 ○
	0 - 5 ●	3 - 2 ○	3 - 0 ○	2 - 0 ○	1 - 2 ●		0 - 1 ●	8 - 0 ○
中新田SC	1 - 0 ○	0 - 1 ●	2 - 1 ○	1 - 0 ○	3 - 0 ○	0 - 1 ●		2 - 2 △
	7 - 0 ○	3 - 1 ○	6 - 0 ○	6 - 0 ○	7 - 1 ○	1 - 0 ○		4 - 2 ○
塩釜FCヴィーゼ	1 - 1 △	1 - 2 ●	0 - 7 ●	3 - 1 ○	0 - 3 ●	1 - 2 ●	2 - 2 △	
	1 - 3 ●	1 - 2 ●	4 - 3 ○	5 - 0 ○	0 - 4 ●	0 - 8 ●	2 - 4 ●	

日程一覧

●	4/2	宮城県リーグ第1節	2-3	多賀城@鳥の海 (13:00副審)
●	4/9	宮城県リーグ第2節	0-2	教員@めぐみ野B (11:00運営、11:00副審)
●	4/23	社会人大会1回戦	0-1	BOASORTEさくら@鳥の海
○	5/7	宮城県リーグ第3節	5-0	SC75@鳥の海 (10:00副審)
○	5/14	クラブ選手権2回戦	0-0(PK5-4)	仙台FC@めぐみ野C (14:30副審)
△	6/11	宮城県リーグ第4節	2-2	中田@鳥の海 (12:00運営、15:00副審)
○	6/25	宮城県リーグ第5節	1-0	中新田@めぐみ野C (9:00運営)
●	7/2	クラブ選手権準々決勝	1-1(PK7-8)	東六@鳥の海 (11:00副審)
○	7/23	宮城県リーグ第6節	2-0	SC75@アイリスG (11:00副審)
○	8/13	宮城県リーグ第7節	5-2	東六@めぐみ野B (13:00副審)
○	8/20	宮城県リーグ第8節	2-1	塩釜@鳥の海 (9:00副審)
○	8/27	宮城県リーグ第9節	8-0	塩釜@鳥の海 (15:00副審)
●	9/10	宮城県リーグ第10節	【不戦敗】0-5	中田@鳥の海 (9:00副審)
○	9/24	宮城県リーグ第11節	3-2	東六@松島FBC1 (9:00運営、11:00副審)
○	10/1	宮城県リーグ第12節	3-0	多賀城@松島FBC1 (9:00主審、9:00副審)
●	10/15	宮城県リーグ第13節	1-2	教員@アディダス (9:00副審)
●	10/29	宮城県リーグ第14節	0-1	中新田@鳥の海 (13:00運営、15:00副審)

■2023年04月02日(日曜日) 県リーグ1部 第1節 多賀城FC戦

試合開始 15:00 (40分ハーフ) 場所:鳥の海運動公園

【結果】 2-3で負け

【得点者】 佐々木道滉【1点目】 田邊悠太【2点目】

【アシスト】 坂井響【1点目】 佐々木道滉【2点目】

【スタメン】

GK: 星京吾⑯

DF: 佐久間遼③、鈴木涼平⑤、田邊悠太②、吉田竜也④、向川大成⑧

MF: 菅野隼也⑥、長浜慧昌⑦、

FW: 坂井響⑨、佐々木道滉⑩、小渕瑛周⑪

【控え】 なし

【交代】 GK交代(40分) 星京吾→小渕瑛周

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、吉田和朝

【主審】 なし

【副審】 田邊悠太(13:00--14:30)

【評】

今年の桜は例年より10日以上も早く開花し、満開の中で開幕戦を迎えることになった。

開幕戦に先立ち、めぐみ野Cグランドで8:10から開会式があった。例年だと3月の合同委員会で優勝の賞状が渡されるのだが、今年はコロナと2部が10チームと多かったことと、昇格戦が雪で2月に延期になつたりして、リーグが完結しなかつたため、ここまで延びたようであった。優勝の賞状は、昨年度のメンバーにはLINEでお知らせした。

開幕戦の相手は多賀城FC、場所は鳥の海運動公園だ。先週は暖かい日が続いたので今日もそうだろうと思っていたらとんでもなく「寒かった」。風も強く一層寒く感じた。13:30集合だったが、集まつたのは5人。昔なら青くなつて電話かけまくりだったであろうが、今はスマホの時代、LINEで今日来る予定のメンバーはわかつっていたので慌てることはなかつた。ここ鳥の海運動公園までのアクセスは他のグランドに比べ選択肢が少ない。加えてお花見等で渋滞があり、予定通りには着かないので精神的に良い場所とは言えないようである。しかし、最終的に予定通り11人が集まってくれた。

15:00、キックオフ。先に2試合があり、暇なので見ていたが、開幕戦で、しかも寒いせいかどのチームも動きが固く、選手達も辛そうであった。我々も、練習試合をやって体を作り開幕戦に臨もうとはしたが諸事情でできなかつた。オフシーズン明けで、初めてのメンバーで、いきなりぶつけ本番となつた。しかも、今日は正キーパーが所用で欠席、心が折れないような試合内容で終えられれば御の字と思った。

前半はGK星、DF佐久間、鈴木(涼)、田邊、吉田、向川。MF菅野、長浜。FW坂井、佐々木(道)、小渕だった。相手を見てDF数を変化させる、ベンチの思惑を読んでくれたようなフォーメーションだった。



開始早々 2 分、 C K を得る。ボールはゴール前に入ってきた。ゴール前には相手 D F がたくさんいたが、佐々木(道)が肩でボールを押し込みゴールネットを揺らした。開始早々 幸先良しと喜んだが審判の判定はノーゴール(ハンド)だった。

4 分には佐久間が中に入れたボールに坂井が突っ込む。タイミングはドンピシャだったがボールはバーを叩く。佐久間の目を見張るような動きに驚いたが、自らの審判活動のために体を仕上げていたようであった。

7 分には佐々木(道)がゴールに迫るなど、皆想像していたより遙かに動きが良かった。ただ、お互いの意図が思うように結果に反映されないのがもどかしかった。そして 10 分、相手に先制を許す。0 - 1。

しかし、試合の主導権はこちらにあるように見えた。向川は、ブログにもビデオにも登場は少ないが攻撃、守備の要であることは毎試合の当たり前になっている。今日も危険の芽を未然に防ぎ、攻撃の起点となってチャンスを創っていた。

12 分、佐々木(道)が左から相手 D F を切り崩し、鈴木(涼)へラストパス。決定機の嗅覚に優れる鈴木(涼)だが、体が思うように反応しなかったかボールはゴールを捉えられなかつた。

13 分、坂井。坂井は東北クラブ 4 年目になるが未だスピードは衰えない。ただ、社会人なので体が試合に慣れるまで少々時間が必要なようである。

15 分、坂井、吉田。1 月の最終戦に出てくれた吉田は、1 試合で違和感なくこのチームに馴染んだでくれたようで、今後試合の力ぎを握るのではないかと思わせた。

17 分、佐々木(道)がゴールを脅かすが得点には至らず。そんな中、19 分に 0 - 2 とされる。

後半に入る。

前半キレの良い動きで相手 D F の脅威となっていた小渕が G K をやってくれた。小渕は 1 年間のブランクを感じさせないスピードとボールコントロールだった。

後半 3 分、坂井からキラーパス、受けたのは佐々木(道)。相手のチャージを受けながら全くバランスは崩れず、G K の動きを見極めシート。G K 左脇下を抜いてゴールネットに突き刺さった。待望の得点、今年度初ゴールとなった。

直後の 4 分、坂井がゴール前で相手 D F に競り勝ちボールを奪取してラストパス。ごつごつんゴールかと思われたがあまりのチャンスにびっくりしたか外れた。

後半 6 分、中盤からの絶妙のパスは佐々木(道)に渡る。佐々木(道)は一瞬で相手 D F を置き去りにして G K と対峙した。強烈なシートボールは G K がはじくのが精一杯だっただろう。ボールは右に流れた。そこに走り込んでいたのは田邊。ボールはゴール右に突き刺さる。2 - 2。

同点になり盛り上がったことは言うまでもない。

後半 9 分、左で呼ぶ長浜にパスが出たが、ベンチも気の毒になるような厳しいパスだった。ゴールラインを割るかに見えてか俊足長浜は追いついた。相手が慌てて詰めてきたところを佐々木(道)にヒールキック。どフリーで佐々木(道)はセンタリングすることができた。初戦にもかかわらず長浜はよく走っていた。

こちらが押している時間が続いたが追加点は取れなかった、逆に、こちらの D F の隙を

ついたパスから、後半21分、見事なシュートを決められ2-3。

後半23分、左ペナルティーエリアの外で相手DFがクリアしようとしたボールを体でブロックして奪取した佐々木(道)はゴールへ一直線、相手DFが並んだ間をぬって水平にセンタリング、真ん中の田邊にピタリと合ったと思ったが、何か合わなかつた。

後半31分、ゴール前に走り込んだ佐々木(道)にロビングボールがピタリと合つたが、一瞬早すぎてオフサイド。

後半35分、FK菅野。右カーブさせてゴール右上隅を狙つたが、曲がり方が少し足りなかつたようだ。その後3回CKが続くも得点ならず。前半GK、後半はサイドDFで相手の突破を殆ど許さなかつた星がゴール前に上がつてきた。星の前にボールが来る場面があつたが、相手DFの体を張つたプレーに得点はならなかつた。

後半38分、相手GKのドリブルに坂井がチャージ、こぼれたボールを佐々木(道)がダイレクトにシュートした。狙いは良かつたが、如何せんシュート角度が無くゴール前を横切る。後半41分、42分と最後まで諦めずゴールを脅かすも終了のハイツスルとなつ

今日の試合を見て、今年も見応えのある試合とゴールシーンが期待できるという予感があつた。【鈴木修平.記】

■2023年04月09日(日曜日) 県リーグ1部 第2節 教員クラブ戦

試合開始 13:00 (40分ハーフ) 場所:めぐみ野Bグランド

【結果】0-2で負け

【得点者】なし

【アシスト】なし

【スタメン】GK:茂野正紀①

DF:廣瀬海音②、田邊悠太⑯、吉田竜也⑬、星京吾⑫

MF:長浜慧昌⑦、向川大成⑩、小泉海翔⑧

FW:佐々木道渕⑪、梅田龍太郎⑯、馬場光一⑯

【控え】坂井響⑭、坂元智行⑨

【交代】梅田龍太郎⑯→坂井響⑭、
星京吾⑫→坂元智行⑨(HALF)

【警告】田邊悠太⑯、吉田竜也⑬

【ベンチ】鈴木修平

【運営当番】船橋富寿、小川譲次

【主審】なし

【副審】馬場光一(11:00--12:30)

【評】

前日雨が降り桜が散らないか心配だったが、寒かったおかげでまだ十分に残っているようであった。今日の会場、めぐみ野Bグランドの周りのたくさんの桜も、綺麗に咲いていてまだまだ見頃だった。ただ、先週と同じように風は強く寒かった。

今日の相手は教員クラブだ。過去、2013年5月19日に社会人選手権予選で当たり1-3で負けて以来、対戦していない。その時とは当然メンバーは替わっているが、チームカラー



はそう変わってはいないようだ。常日頃鍛えている体と個人技に、チームプレーが加わると無類の強さを発揮するチームである。県リーグ1部のチームは、押し並べて上手い。個人的にも、チームとしても皆隙がない。

一方、我々の方は全く新しいチームとして2試合目、先週来れなかったメンバーも揃い、ようやく新チームとして形をなしての初戦であった。集まつたメンバーは13人、今日ではほぼ全員がピッチに立つことになる。チームとしては、兎に角お互いが暗黙に意思疎通ができるようになることが焦眉の急であった。それ無くして、徒に最初から勝ち負けにこだわる事は、終盤で泣きを見ることになるのは火を見るよりも明らかである。

今日のフォーメーションは、GK茂野、DF廣瀬、田邊、吉田、星(後半:坂元)。MF向川、長浜、小泉。FW梅田(後半:坂井)、佐々木(道)、馬場である。

新メンバーにとっては未知の世界、初めての県リーグで先輩・後輩とは言え、初顔合わせである。体の方も少しあ走り込んでいても、全力プレーを1試合続けられるだけの体力・気力はまだできていないはずである。なので、怪我をしないで試合に慣れてくれることを第一優先とした。

しかし、こちらの思惑とは関係なく、試合は最初からガチでぶつかる激しいものとなつた。相手チームの選手は体もできている上、チームプレーも冴え、守備も攻撃も思わず「上手い！」と溢れてしまうほどだった。

一方的に押しまくられるかと思いきや、15分を過ぎる頃には対等に渡り合っている場面があった。相手は後方からこちらのDFの裏にボールを集めてきたように見えた。通れば即得点に結びつく。教員クラブのそういう得点シーンはこれまで何度も見てきた。しかし、DF陣はそれを体で知ったかヘディングでも殆ど負けなかつた。そのため決定的なシーンは少なかつた。

中盤は熾烈な場面が多かつたが、皆対等以上のプレーをしていた。しかし、全力プレーでの競り合いなので、競り勝ってもその次のプレーに余裕がなく、最後のキラーパスまでには至らなかつたようだ。その結果、当然ながらFWは相手と勝負して、ゴールを脅かす所まで行かない状況が続いた。外から突破を試みるも、相手は2人がかりで来る。守り方を知る2人を抜くのは容易な事ではない。それでも果敢に攻めた続けたことは賞賛に値する。これからもこの気持ちを期待したい。

試合としては、昨年は感じる必要が無かつた「負けた！」という久々の感じだった。

今日は、スタッフが監督1人だったので、運営当番を船橋さんと小川さんにお願いした。お二人とも快く受けてくださり、無事終えることができました。ありがとうございます。

【鈴木修平.記】

2023年04月23日(日曜日) 全国社会人選手権予選1回戦 BOASORTEさくら戦

試合開始 10:00 (40分ハーフ) 場所:鳥の海運動公園グランド

【結果】 0-1で負け

【得点者】 なし

【アシスト】 なし

【スタメン】 GK: 茂野正紀①

DF: 廣瀬海音②、田邊悠太⑦、吉田竜也⑬、星京吾⑯

MF：長浜慧昌⑦、向川大成⑩、鈴木涼平⑤
FW：遠藤聰⑯、坂井響⑭、佐々木道晃⑪、
【控え】小渕瑛周④、小泉海翔⑧、馬場光一⑯、
【交代】長浜慧昌⑦→馬場光一⑯、
遠藤聰⑯→小渕瑛周④、
星京吾⑫→小泉海翔⑧

【警告】鈴木涼平⑤

【ベンチ】鈴木修平、吉田和朝、沼野邦達(見学)

【評】

昨年は申込みを忘れた「全国社会人選手権予選」だったが、今年は万全を期し申し込みを忘れなかった。

今日はその全国社会人選手権予選の1回戦である。相手は「BOASORTEさくら」、場所は鳥の海運動公園である。天気は文句なく良いが、風が・・強すぎる。海沿いなのでいつも風はあるのだが、気圧配置の影響もあり迷惑なくらい「強い」。この風が試合にマイナスに影響しないかと心配したが、条件は相手も同じだと言い聞かせる(自分に)。

県リーグに比べ、カップ戦はユニフォームのチェックが厳しい。チーム名が入っていること、色は同じであること、模様も同じであること等々。過去、緑のパンツの色、模様が違うということを指摘され、次回揃わなかつた場合は不戦敗もありうると示唆された経緯がある。今回は、問題の緑のパンツを冬に新調することができクリアした。ストッキングは学友会のものを使うことでこれもクリアできた。

今日のメンバーは14人。ほぼ全員が県リーグの試合を今年度経験済みである。1試合でも経験しているか、いないかは大きな差である。これまでの2試合は体を慣らすことについておいてきたが、今日それが活けるかどうか。さらに、独自に練習もこなしたと聞く。トーナメントにかける意気込みが伝わって来ていた。

10:00キックオフ。

「BOASORTEさくら」のユニフォームはこれまで「さくら」をイメージした「ピング・黒・黒」だった。しかし、今回は「白・白・白」を希望してきた。ベンチとしてはこれまでとイメージが異なり、別のチームのように映った。プレーもかつてのそれとは違ったように見えた。相手チームの選手達は、皆筋トレで体を鍛えているような体格であった。体に自信があるからか当たりも強い。瞬発力も並では無い。試合開始から厳しい当たりが続く。一方、我が東北クラブの選手達は見た限りは筋骨隆々という感じではない。しかし、プレーでは何の遜色も無かったどころか、スピードでは相手を上回り、それに連携プレーが効いて実に見応えのあるプレーを見てくれた。これまでの2試合は活きた。

前半8分、右から相手DFを切り崩して中へ速く低いセンタリング、合わせたのは佐々木(道)。惜しくもゴールにはならず。

風が異常に強いので、ボールを高く上げることは愚策であることは誰もが認識していたようだ。低く速いボールを正確に回し、相手DFを崩そうとする意図が読み取れた。しかし、相手もDFの数を厚くし容易に隙を見せなかつた。



相手D Fは瞬発力に優れているように見えたが、スピード・持久力は東北クラブが優っていたように見えた。しかし、相手の防御を崩せず得点に至らなかつた。これは・・という場面でも相手G Kのファインプレーに何度も阻まれた。

後半30分、攻めに攻めていたにもかかわらず、カウンター攻撃でこちらのD Fの隙を突かれ失点する。時間はまだ十分にあり、相手の疲労も目に見えるほどで同点は時間の問題と思われた。しかし、相手はこちらのスピードや攻撃パターンに目が慣れたためか決定的な場面を作らせなかつた。ゴールか？！と思われた場面もあったが、相手G Kは悉くそれを防いだ。「敵ながら天晴れ！」という形容が相応しい。時間はどんどん無くなり、タイムアップ。足のツル選手が多い中、数少ないチャンスをモノにした相手が1-0で勝利した。幸運の女神は相手に微笑んだ。

【鈴木修平.記】

■2023年05月07日(日曜日) 県リーグ1部 第3節 SC75戦

試合開始 12:00 (40分ハーフ) 場所:鳥の海運動公園

【結果】 5-0で勝ち

【得点者】 長浜慧昌【1点目】

坂井 韶【2点目】

長浜慧昌【3点目】

馬場光一【4点目】

佐々木道滉【5点目】

【アシスト】 小泉海翔【1点目】

佐々木道滉【2点目】

佐々木道滉【3点目】

佐々木道滉【4点目】

遠藤聰【5点目】

【スタメン】 GK:沼野陸⑯(前半)／茂野正紀①(後半)

DF:廣瀬海音②、鈴木涼平⑤、吉田竜也⑫

MF:坂元智行⑨、長浜慧昌⑦、小泉海翔⑧、向川大成⑩

FW:坂井響⑭、佐々木道滉⑯、遠藤聰⑥

【控え】 茂野正紀、星京吾、馬場光一

【交代】 沼野陸→茂野正紀、坂元智行→馬場光一、吉田竜也→星京吾

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、吉田和朝

【主審】 なし

【副審】 小泉海翔(10:00--11:30)

【評】

今年度の会場は鳥の海のグランドが多い。開幕から4試合のうち3試合が鳥の海である。これまで多かつためぐみ野Cグランドが改修工事のためと聞いている。去年は暑い時に海風が心地良いと感じたこともあったが、今年は強風や雨に寒さが加わって印象が悪くなりつつあるのに加え、三連敗でまだ白星がないので余計に印象が良くない。

今日の相手は、SC75。2年前仙台リーグから昇格し、1年で1部に昇格したチームである。その年はコロナ禍で1試合しかできなかつたが1-6で負けている。集まる人数も我々と同じように潤沢ではないようで、戦力維持の大変さが伝わってきていた。しかし、1部に残留しているだけあって、力もついている。今日は、お互い初白星がかかつた大事な試合だった。

今日、集まったメンバーは14人。新しく1人が加入してくれた。沼野陸君、ポジションはGKだ。試合前、GK2人が練習する光景を見て、正キーパーが2人いることの安心感を何年かぶりで思い出した。沼野は先発で前半を担った。

10:00キックオフ。雨は小降りになり、プレーに支障はないように思えてきた。最初の5分は普通様子見なのだが、今日は最初から気合いが入っていたようだ。それが開始早々に実る。ペナルティエリアの外、坂井が右サイドに走る。相手DFは当然付いていく。そこに空きスペースができた。長浜が入る。そこに小泉から絶妙のパス。長浜はワントラップで相手を外し、一瞬の機会を逃さず左足を振り抜く。弾丸ライナーはカーブして相手GKのセービングを無にし、ゴール左上隅に突き刺さった。1-0。長浜ひさびさの豪快シュートだった。

この時間帯の得点は相手にとっては重くのしかかる事になる。我々にとってはこの機会を逃さず早いうちに追加点が欲しいところであった。

しかし、なかなか追加点はならない。いい形で左から、右から早いパスが何本も繋がるのだが、最後の詰めでゴールに嫌われているようだった。

後半に入る。

後半6分、佐々木(道)のキラーパスは坂井を相手GKと1対1にさせた。坂井は相手GKの動きをよく見て、右脇下を抜き待望の追加点をもぎ取った。2-0。

これでそれまでのチグハグ感が吹っ飛んだか、立て続けにゴールのチャンスが巡って来るようになった。

後半20分、左サイドで馬場が相手DFと競る。こぼれたボールを佐々木(道)が奪取、ゴールラインぎりぎりからセンタリング。ゴール前の長浜にピタリと合った。長浜は狙いすました低弾道シュートはゴール左ネットを揺らした。セオリー通りニア・ポストを抑えていたGKだったが、一歩も動けなかった。3-0。

後半35分、相手ペナルティーエリア内での攻防の中、佐々木(道)から左にフリーでいた馬場に素晴らしいパスが出る。馬場はゴール右にドライブ・シュート。ゴール・バーの下を叩いてネット右に収まった。どんなGKも取れないだろうシュートだった。4-0。

その直後の後半36分、遠藤からゴール前にロビング・ボール。相手GKが予測していればボールをとれたかも知れない。しかし佐々木(道)のスピードはそれを許さなかつた。ボールはGKの頭上を超えてゴールイン。5-0。

今日、何度も素晴らしいシュートを放つもゴールに嫌われていた佐々木(道)だったがこれで溜飲を下げたか!? それにつけても今日は、1得点3アシストの大活躍だった。

終わってみれば5-0。開幕から4試合目にしてようやく、守備からの攻撃が得点に結びつく実感を、メンバー全員が共有できたような気がする。【鈴木修平.記】

P.S 今日の第1試合、副審の担当があり小泉海翔君が務めてくれた。自分達の第2試合は雨が少しだけになったが、第1試合は結構強かった。寒さも加わり大変だったと思います。自分達の第2試合でも疲れを感じさせない活躍でした。ご苦労様でした

2023年05月14日(日曜日) クラブチーム選手権2回戦 仙台FC戦

試合開始 13:00 (30分ハーフ) 場所:めぐみ野Cグランド

【結果】 0-0 PK:5-4で勝ち

【得点者】 なし

【アシスト】 なし

【スタメン】 GK: 茂野正紀①

DF: 廣瀬海音②、向川大成⑩、吉田竜也⑬、遠藤聰⑯、

MF: 菅野隼也⑥、田邊悠太⑭、小泉海翔⑧、

FW: 長浜慧昌⑦、坂井響⑭、佐々木道滉⑪、

【控え】 鈴木涼平⑤、馬場光一⑯、星京吾⑫

【交代】 田邊悠太⑭→鈴木涼平⑤

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、吉田和朝

【副審】 茂野正紀(14:30-15:50)

【評】

今日は2つ目のトーナメント・カップ戦「全国クラブチーム選手権予選」の2回戦である。2回戦だが、抽選会で1回戦はパスとなつたため初戦である。

相手は「仙台FC」仙台リーグ1部で昨年度優勝し県リーグの昇格戦に出場していたチームだった。県リーグに昇格する11年前、仙台リーグで対戦していたチームだがもはやその当時の面影は無い。クラブチームとして力を入れエンブレムも新しくするなど振興著しいようである。会場でも、メンバーが多いし、練習のトレーナーも立派で見た目の華やかさでは、圧倒的に負けていた。場所は久々に「めぐみ野C」だ。

今日のメンバーは14人。県リーグ等で4試合をこなしてきたメンバーで、チームとしての仕上がりはこの時点では申し分無いと思った。一つだけ気がかりだったのは、新しいメンバーでの中盤から得点までの連携・意思疎通の実績が少ないことだったが、これは仕方の無いことで、もう少し試合を重ねなければならないことは百も承知であった。

13:00、キックオフ。クラブチーム選手権は30分ハーフ、あつという間に決着がつく。失点は命取りになる。なので、初顔合わせの相手にはDFを多くして備えるのは当然である。パスクワクも悪くない。何度も相手陣内に攻め入る。しかし、決定的なチャンスを作れない。そんな時間が過ぎていく。10分、20分、あつという間に前半が終了した。

後半も、同じような展開が続く。

後半15分、相手がカウンター攻撃からトンペイクラブ陣内で猛攻。茂野の神対応が無ければ間違いなく失点していただろうと思う。反応が素晴らしく、逡巡は微塵も見られなかつた。相手の3度のゴール・チャンスをすべてブロックし無にした。



後半も無得点で0-0であった。相手チームは我々に決定的なチャンスを作らせなかつた。あつという間にタイムアップとなり。即PK戦となる。

「負けた」と思った。監督を引き受けて12年、PK戦は何度かあったが優勢に試合を進めた時は大抵涙を飲んでいる。「優勢だったチームがPK戦では負ける」これは我々のチームだけでなく他のチームにも当てはまるようで、関係者の間ではもはや定説となっている(?)。PK戦の順番を求められた時、それが思い出され「歳の順番」にした。年長者が失敗して負けたのであれば「仕方ない」と納得してくれるのではないかという、後ろ向きのいかにも古臭い考えであった。

1人目、坂井のボールは低く速かったが相手GKの好守に阻まれる。しかし、相手も1人目はバーに当たり入らなかつた。0-0

2人目、菅野のボールは左ポストを僅かに外れてしまった。相手2人目は見事に決めて0-1。

3人目、長浜。殆ど助走無しで蹴った。どっちに蹴るのか蹴るまでわからなかつた。左上隅に決まった。相手のキッカーは思い切り蹴ってきた。強烈なシュートは速くて見えない程だつた。しかしGK茂野の反応はそれを上回つた。ボールはネットを揺らすことは無かつた。1-1。

4人目、廣瀬、GKはボールを手に当てたが右隅に決まった。ビデオを見ると、蹴る時左に蹴るように見せかけたように感じた。それでGKが一瞬左に動いて反応が遅れたのではないかと。相手も決めて2-2。

5人目、佐々木(道)、彼も殆ど助走無し。GKは左に来ると読んでいた。皆、そう思ったと思う。しかし、ボールは右隅に。相手も決めて3-3。

6人目、向川、左上隅に蹴ったボールはバーに当たる。相手チームから歓声が上がる。次で決めれば勝ちであるから当然である。逆にこちらのベンチは落ちた。相手のキッカーは、渾身の力で蹴つた。高さは完璧、しかし枠外だった。3-3。

7人目、鈴木(涼)。彼は助走をつけて渾身の力で蹴つた。コース、高さとも完璧だった。相手も左下隅に見事に決めて4-4。

8人目、小泉。ゴール左上隅に決める。力むと外れるコースだが、腰が入つてそう言う心配はいらなかつた。8人目でようやく、初めてリードする状況になつた。相手チームのキッカーの緊張が伝わってくる。蹴ろうとした時、急に風が強くなつて相手キッカーは動いたボールを直しに行つた。そして、心を決めて助走、ボールを蹴つた・・・ボールは左ポストに当たつて外へ出て行つた。5-4。勝つた！

こういう勝利はサッカー人生初めてである。しかし、嬉しいことは嬉しいのだが、手放して大喜びというのは・・何か違うという感じで、選手達も同じようだつた。幸運の女神もたまには我々にも微笑んでくれるようである。この勝ちは是非次に活かしたい。

【鈴木修平.記】

■2023年06月11日(日曜日) 県リーグ1部 第4節 仙台中田SC戦

試合開始 13:00 (40分ハーフ) 場所:鳥の海運動公園

【結果】 2-2で引き分け

【得点者】 【1点目】佐々木道滉 【2点目】坂井響
【アシスト】 【1点目】坂井響 【2点目】小渕瑛周
【スタメン】GK:茂野正紀①
DF:廣瀬海音②、吉田竜也③、遠藤聰⑧、向川大成⑩
MF:坂元智行⑨、沼理那空⑯、小渕瑛周⑥
FW:梅田龍太郎⑦、坂井響⑭、佐々木道滉⑯

【控え】なし

【交代】なし

【警告】なし

【ベンチ】運営当番で不在

【運営当番】鈴木修平、吉田和朝

【副審】遠藤聰(15:00--16:30)

【評】

今年は鳥の海が会場の時は雨が多い。今日も会場までの途上は結構強い雨だった。ラジオでは梅雨入り宣言をしていた。

今日は運営当番が割り当たっていた。最初の予定では8時に開錠しなければならなかつたが、上部大会の試合のため変更があり、午前の2試合が無くなつた。それで11時開錠となつた。

鳥の海運動公園の運営当番は初めてである。会場ごとに勝手が違うので最初は戸惑う。ここは事務所へ挨拶して、特に記入は必要なかつた。グランドへの入場は「番号鍵」を開けると聞いていた。「番号」は事前に県リーグ事務局から教えられていて、自転車などのダイヤル式をイメージし高を括つていた。ところが、門には南京錠がかかつていて「?」となつた。どこで番号を入れるのかわからず、グランドの周りを半周したりして15分ほどうろうろした。原点に返り、南京錠のかかつてゐる門をよく見たら右端に怪しげなモノがあつた。丸い金属箱の表面に数字が見え、触ると反応するので「これだ!」と喜んだのも束の間、9桁の番号を入力して・・その後どうするかがわからなかつた。蓋になつていて、それを開けて中から「鍵」を取り出すのだ、とわかるまで数分を費やした。わかれれば何でもないことだったが、久々に必死・真剣になつた。刺激を感じない年になつてゐるので、稀にはこういう試練もいいかも知れない。

今日の試合は13:00キックオフ。対戦相手は「仙台中田サッカークラブ」、何年か前に県リーグ1部から東北リーグに昇格し、昨年まで活躍していたチームである。自分が監督になってから対戦は無く、初めての顔合わせである。集合したメンバーは11人。前日まで、集まらなければ棄権も有り得る人数だったのでほつとした。

雨はほとんど降つていなくて試合には影響なかつた事は幸いであった。初めての対戦相手なのでどういう試合運びをしてくるか様子を見ながら、チャンスと見れば一気に攻めるという形で入つた。

相手は中盤あまりガツガツ来なかつた。むしろ、ボールを持たせてくれているような感じがするほどであった。それにも関わらず我がチーム得意の、短く速いパスを何本もつないで決定的なチャンスを創る、という場面が見られず、後方からロングパスで相手DF



の裏に落とそうとする攻めが目立った。今日は、集合に遅れるメンバーが多く、試合前の練習が殆どできなかつたようであった。日頃、集合しての練習ができない我々のようなチームには、試合前の練習は貴重なものである。今日の試合運びに精彩を欠いた原因はそれではないかと思った。(笑)

運営当番なので、自分のチームに指示したり応援したりすることは憚られるので、黙って見ているしかなかつたのが残念であった。

前半20分を過ぎる頃から、こちらの攻める場面が多くなったように見えた。17分坂井、20分遠藤、22分小渕と相手陣内でチャンスを作り、もう一步というところまで行くがなかなか期待したところまでは行かなかつた。

坂井、佐々木(道)が鋭いシュートを見せるも、相手GKの好守に阻まれる。

前半27分、相手はパスをカットしてカウンター攻撃か！という局面があつた。相手FWに渡つたら危ない場面だったが、GK茂野が好判断で中盤まで出てヘディングし危険を未然に防いだ。

前半30分、自陣ペナルティーエリア付近で相手FWがドリブルで最終ラインを突破しそうになった。DF廣瀬はスライディング・タックルで相手のチャンスの芽を摘んだ。場所が場所だけに反則を取られることを危惧したが、誰が見ても「問題なし」というスライディングを吉田コーチが珍しく（？）褒めていた。

39分、40分、41分と得点かと思われる場面が続いたが相手の好守に阻まれた。

逆に、終了間際に自陣左のコーナー辺りから、相手FWがスピードに乗つた素晴らしいセンタリングを上げた。速いボールにGK茂野はセービングで手先に当てて弾いた・・。「ホッ！」とした次の瞬間、ボールがゴールネットに突き刺さっていた。本部ではよく見えなかつたので相手チームに「得点者は誰でしたか？」と聞くと「オウンゴールでしょう」。

(^_^;) 0-1。

後半に入つて、すぐに試合が動いた。

後半1分、左サイドを沼野が上がる。切り返して中へ入ろうとして相手と接触する。ボールは傍にいた坂元が奪取し、次の場面を見越していたかのような縦パスは、トップスピードの坂井に渡る。DFは追いつけない。ゴールライン目前で坂井はダイレクトで、しかも右アウトサイドで地を這うような速いボールを中へ入れた・・誰かが合わせた。ボールはGKの右脇を抜いてゴールネットに突き刺さっていた。佐々木(道)だった。アシストも素晴らしいが、ゴールも素晴らしい。よく合わせられたと思う。加えて、開始1分という時間帯も良かった。1-1。

これでムードが良くなり、こちらにチャンスが多くなったが相手の好守に追加点はならなかつた。

相手もチャンスがあるもののなかなか得点に結びつかなかつたが、後半21分、こちらが疲れてDFにはころひができた所を見逃さなかつた。豪快な素晴らしいシュートで1-2とした。

こちらは、チャンスはあるものの得点にならない焦りと、体力消耗で疲れが目に見えるようになってきた。今日はこのままで終了する予感が強くなつてきていた。加えて、空は暗くなり、雨も強くなり、運営の記録表も濡れてボロボロになりつつあった。終了のボイツ

スルが近い時間帯になった時、右サイドで小渕が相手DFを何人か引き付けて中を伺っていた。その時、ペナルティーエリア中央外からゴール前に走りこんだ影があった。小渕は中にボールを入れた。影は坂井だった。ゴール前でフリーでボールを受けたが、少し後ろだったようだ。倒れながらもボールを前に落し流し込んだ。GKもセービングしたが一瞬坂井が早かった。ボールは見事ゴールネットを揺らした。2-2。値千金の同点ゴールだった。「負け」と「引き分け」では雲泥の差がある。これまで、シーズン後半になってから何度そう思ったことか。

【鈴木修平.記】

P.S 副審を務めてくれた遠藤聰君、途中から激しい雨で大変でした。ご苦労様でした

■2023年06月25日(日曜日) 県リーグ1部 第5節 中新田SC戦

試合開始 15:00 (40分ハーフ) 場所:めぐみ野C

【結果】 1-0 で勝ち

【得点者】 坂井響

【アシスト】 小泉海翔

【スタメン】 GK: 茂野正紀①

DF: 吉田竜也②、田邊悠太⑦、向川大成⑩、
星京吾②

MF: 菅野隼也⑥、遠藤聰⑧、小泉海翔⑧

FW: 長浜慧昌⑦、坂井響⑭、佐々木道滉⑯

【控え】 沼野邦陸⑯、小渕瑛周⑥、馬場光一④、内海公平⑪

【交代】 星京吾②→小渕瑛周⑥、佐々木道滉⑯→馬場光一④、田邊悠太⑦→内海公平⑪

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、吉田和朝

【運営当番】 残間諒、佐々木元樹、吉田和朝、鈴木修平(8:00~10:40)

【副審】 契約試合のため無し

【評】

予想された通り厳しい試合だった。

今日の相手は「中新田サッカークラブ(中新田SC)」。今年、我々と同じタイミングで県リーグ1部に昇格した。1部での戦績は現在2戦2勝。見ていても試合内容はいつも安定している。パワー、スピード、チーム連携プレーいずれもレベルが高く、弱点が無い。こちらにはころびがあればすかさず突かれて失点に結びつく、そういうチームであると心地っている。これまで何度も対戦してきたが、毎回息の抜けない緊迫した試合になるのが常であった。

今日は15人のメンバーが集まり、久々に試合前が賑わっていた。場所は、めぐみ野Cグランド。グランド状態はいつも通り良くない。

15:00キックオフ。最初から全力のトップスピードでの攻防である。様子見は無い。気を抜けば即失点につながる。そういう立ち上がりであった。

こちらはこれまで6試合をこなしていることもあり、相手のペースに合わせることは難しくなかったようだ。最初からハイペースなので、そのお陰でこちらの勢いにも火が点き、



攻撃でしばしば相手ゴールを脅かす場面があったのは予想外だった。

4分、佐々木(道)、坂井。

7分、長浜。

10分、菅野。

14分、坂井。

相手も左右のサイドから得意のパスワークで突破してくる。しかし、DF陣は決定的な場面を作らせない。そんな場面が何度も続いた。今日は蒸し暑いので飲水タイムが設けられたが、その頃には全員汗びっしょりで、体力もかなり消耗していたようだ。

22分、田邊、坂井。

29分、佐々木(道)、長浜。

前半35分、疲労著しい星に代わり小泉が入る。

前半終了間際、中盤からゴール前に長いロービングパスが出た。佐々木(道)が俊足を飛ばしDFが併走する。GKが出て来て交錯しそうになったが事なきを得た・・と思った矢先、佐々木(道)に異変が、倒れたまま動かない。ベンチから次々と駆けつける。続行は難しいと判断し、馬場が交代した。試合は再開したが、佐々木(道)は自力では動けない重傷のようで担架で病院へと向かった。前半終了。

後半に入る。

後半開始から3分、5分と小泉にゴールを狙うチャンスの場面があったが惜しくもゴールには至らなかった。

後半11分、ペナルティーエリア左外で坂井に得点のチャンス。

後半12分、再びペナルティーエリア左外で、小泉からのパスをほぼフリーで受けた坂井はトップスピードでドリブルしながらGKとの間合いを詰める。GKとは大分距離があったが、手前で勝負した。得意の右アウトサイドから放たれた地を這うようなシュートはGKの右下を抜き、右サイドネットに突き刺さった。1-0。

今日は、坂井にボールが集まてくるような、そんな感じが前半からあった。そんな中で、得点シーンと同じような場面が1,2度あったが相手GKの好守に阻まれていた。しかし、最後に見事に決勝点を決めた。改善能力と勝負強さが光った。

試合内容では1枚上手のように見える相手チームは、不本意な1点を返すべく攻撃が激しさを増す。しかし、DF陣とGK茂野の好守に得点することができなかつた。0-0より1-0の方が緊張感は大きい。後半の飲水タイムを過ぎてから、両チームで足が攣る選手が続出。いかに運動量が多かったかがわかる。前半の試合中断のためかいつもより終了時刻が遅いように感じた。終了のホイッスルが鳴った時、正直ホッとした。

今日のDF陣は向川、吉田、田邊、星。中盤を菅野、遠藤、小泉。攻撃を長浜、坂井、佐々木(道)で開始した。途中、星、佐々木(道)の交代で相手にその隙を突かれることを懸念した、守りでは菅野、遠藤、長浜が的確な動きでそれを補い隙を与えるなかつたようだ。動きが早く、目まぐるしく攻防が変わる中、危険を予知し考えながら動いているチームプレーに感心した。学友会サッカーチームで同じ時期を一緒にプレーした者達だけの無形の財産かも知れない。試合終了後、選手達の笑顔を見て、疲労は半端無かつたと思うが、それ以上の何かを感じた。

【鈴木修平.記】

P.S1 今日は運営当番でした。お手伝いに来てくれた佐々木元樹さん、残間諒さんありがとうございました。

P.S2 佐々木道滉君のけがの程度はまだわかりませんが、すぐに復帰できるような状況ではないと思われます。1日も早い回復を願っていますが、くれぐれも無理はしないようにお願いします。

■2023年07月02日(日曜日) クラブチーム選手権3回戦 東六クラブノスタルジア戦

試合開始 14:08 (30分ハーフ) 場所:鳥の海運動公園

【結果】 1-1 (PK戦 7-8で負け)

【得点者】 坂井響

【アシスト】 小渕瑛周

【スタメン】 GK: 茂野正紀①

DF: 廣瀬海音②、鈴木涼平⑤、吉田竜也⑬、向川大成⑩

MF: 田邊悠太⑰、遠藤聰⑯、小泉海翔⑧

FW: 長浜慧昌⑦、坂井響⑭、小渕瑛周④

【控え】 馬場光一⑯

【交代】 小泉海翔⑧→馬場光一⑯

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、吉田和朝

【副審】 小泉海翔【11:00--12:20】

【評】

新チームになって3ヶ月、今日がひとつの山である。

先週、中新田SCとリーグ戦第5節を戦ったが、チームとしての仕上がりは期待以上を感じていた。

今日は、クラブチーム選手権の3回戦(準々決勝)である。相手は「東六クラブノスタルジア」、場所は鳥の海運動公園である。九州では大雨の地域もあるようだが、こちらは梅雨とはいえ真夏の暑さで気温は32℃だった。

東六クラブは県リーグの1部でいつも1位、2位を争っているチームである。当然チーム力は高い。過去に対戦は一度だけあり0-4で負けている(2019-6-9)。今年はリーグ戦で2度当たる予定であるが、それよりクラブチーム選手権が先となった。相手もこちらの力はまだ未知数であろうし、しかも30ハーフと短いので、勝負の行方には期待があった。

今日のメンバーは12人。今日は昨年度からほぼ全試合出場してくれていた佐々木(道)が、先週の中新田SC戦で負傷したため欠場となった。今日はけが人が出ないことを祈った。

14:08 キックオフ。第4試合は14:00の予定だったが、遅れたのは第1,2試合がPK戦まで行ったためであった。その為、ボールを使っての試合前の練習は開始前ほんの2,3分しかできなかった。

開始早々から、この30度を超える暑さの中、先取点を取って勝敗を決するという相手の意気込みが伝わってくる。一方、こちらは先週も同じような厳しい試合をしているので、



十分は対応できていたようだ。

前半14分、こちらのちょっとしたDFの乱れを相手は見逃さなかつた。シュートされたボールをゴールの中にいたDFが蹴り出しだが、「ゴール」とされる。0-1。

相手はこのタイミングを逃さず一気呵成に追加点を狙ってくる。ここで追加点を取れば勝利に大きく近づくことは間違いない。これでもか、これでもかと畳みかけるように攻めてきた。見ているこちらが疲れるような攻撃だった。しかし、DF陣は崩れなかつた。悉く跳ね返した。

一方、こちらも前半24分、ペナルティーエリア中央外で坂井が絶好のスルーパスを受ける。DF2人が追いかけが追いつかない。坂井は出て来たGKと交錯する直前に右足インサイドで蹴った。GKの詰めが上手くボールはゴール・ポストを大きく外れたように見えた。「アーッ」とベンチからため息が漏れる。しかし、その直後、GKがゴール前で不思議に慌てていたように見えたが何だろうと思っていた。後でビデオで見ると、ボールはインに大きくカーブしてポストに当たり、ゴールラインの前を転がっていたのだった。坂井響、畏るべし。

後半に入る。

後半3分、ゴール前までパスをつなぐ。相手DFにクリアされたかと思われたボールが再び戻ってくる。ゴール前でシュートするもGKが弾く。そのボールがまた目の前に来たがゴールの枠を捉えられなかつた。

続いて後半5分、トップの坂井にパスが出る。驚異の瞬発力で、これまで同じような場面で何度も競り勝って得点してきた坂井だが、今回はGKが僅かに速かった。

後半7分、相手DFの裏にパスが出る。小渕が追う。相手DFと並んだと思ったら次の瞬間、DFは後ろに置き去りにされていた。当然GKも出て来て小渕の目の前に迫っていた。どう見てもGKの方が速かったが、小渕のスピードはギアがもう一つ上がったように加速しGKより先にタッチした。GKは一瞬の後置き去りにされた。小渕はゴールライン前で反転し、狙いすまして中に折り返す。そこには全速で詰める坂井がいた。体全体で押し込むかのようなサイドキックでゴールネットを揺らした。1-1。

この後も何度もチャンスがあったが、相手も必死で防戦し追加点はならなかつた。

そして1-1でタイムアップ。即、PK戦に入る。前回の試合では「歳の古い順」にしたが今回は「歳の若い順」にした。

1人目、遠藤〇、相手も〇。

2人目、吉田〇、相手も〇。

3人目、馬場〇、相手も〇。

4人目、鈴木(涼)〇、相手も〇。

5人目、田邊のボールはバーを叩いた。天を仰いだその時、主審の笛がなる。GKが動いたということでやり直しとなつた。「田邊は何か(ラッキーな運を)持つていてる!/?」とベンチで話題になつた。

田邊〇、相手も〇。

6人目、小渕〇、相手も〇。

7人目、向川〇、相手も〇。

お互い一步も譲らない。ミスはなく当たり前のように決めている。トンペイクラブがこんなにPK戦で外さないのは創設以来初めてではないかと思った。そして、決着の瞬間が訪れる。

8人目、廣瀬。慎重に助走して蹴ったボールは、狙い通り左隅に低い弾道で飛んだ。スピードも申し分なかった。しかし、相手GKのセービングはそれを上回った。これは相手GKが賞賛されるべきだろう。その後、相手〇でPK:7-8で勝負が着いた。決めるべき人で決着してくれて良かったと思う。

今日はこの鳥の海運動公園でクラブチーム選手権の準々決勝4試合があつたが、実に3試合がPK戦だった。

このチームとこういう試合ができたことは、今後大きな自信につながると思う。次回からは県リーグ1部残留に向けていい試合を期待したい。ただ「強きをくじき、弱きを助ける？」傾向のあるトンペイクラブなので油断はできないが・・

前半13分頃、控えの馬場が「今、何分ですか？」とベンチスタッフの我々に聞いてきた。「13分だね」と答えた。監督とコーチは2人とも「飲水タイムにはまだ十分時間がある」という認識だったことが後でわかる。直後「飲水タイムでーす」と主審の声がして2人は「エッ！」と慌てた。30分ハーフなので20分ではなく15分だったのだ。飲水できなかつた人がいたら申し訳なかった。
m(_ _)m
【鈴木修平.記】

P.S 第2試合の副審をやってくれた小泉君に感謝です。副審をやっても試合にほとんど影響がなく動けていたようですが「この天気では、ウォーミングアップとしては酷いかな」とベンチで心配していました。

■2023年07月23日(日曜日)県リーグ1部 第6節 SC75戦

試合開始 15:00 (40分ハーフ) 場所:アイリスオーヤマG

【結果】 2-0で勝ち

【得点者】 小泉海翔【1点目】長浜慧昌【2点目】

【アシスト】 馬場光一【1点目】茂野正紀【2点目】

【スタメン】 GK: 茂野正紀①

DF: 吉田竜也②、鈴木涼平⑤、向川大成⑩、遠藤聰⑨

MF: 田邊悠太⑦、小泉海翔⑧、小渕瑛周⑥

FW: 長浜慧昌⑦、佐々木道晃⑨、馬場光一④

【控え】 星京吾②

【交代】 馬場光一④→星京吾②

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、吉田和朝

【副審】 田邊悠太(11:00~12:45)

【評】

毎年のことだが、この時期梅雨が開けた直後は“暑い”。快晴でサッカーには絶好の天気なのだが・・暑すぎる。



今日の対戦相手はSC75、今期2回目の対戦である。場所は角田のアイリスオーヤマ・グラウンドだ。4年前の2019.6.9、出来たばかりのグラウンドの時に来て以来である。その時はトイレが工事現場用の移動式の「アレ」であった。今回、まだあったので「トイレは昔のままか！」とガッカリしたが、後で新しい建物内に立派なトイレがあることが分かつた。会社の発展が現れているようであった。

15:00キックオフ。暑いし2回目の対戦なので、最初のうちは様子見かと思っていたら、いきなりガチで走ってきた。前半6分には、相手の左ウィングが快速を飛ばしてゴールまで肉迫し、強烈なシュートを放つ。シュートはゴール右上隅に決まるコースを飛んで行った。皆失点を覚悟したと思う。その時GK茂野は反射的に飛んで左手にボールを当てた。ボールのコースはほんの少し変わり、相手の先取点を無にした。

これでDF陣もスイッチが入ったか、向川、鈴木(涼)、吉田、遠藤のDFラインは相手の意図を読んでチーム連携プレーも効果的に働き、危ない場面は殆ど無かったと言える。

今日の攻撃陣はと言えば、いつもと大分変わりがあった。いつもは坂井がトップで相手DFをプレスしてくれるのだが、今日はそれを長浜と佐々木(道)が交互に担ってくれていた。

両チームともチャンスを作るが得点にならない。そんな膠着状態が崩れたのが前半34分、中盤左から対角線のペナルティエリア角辺りにボールが出る。受けたのは小泉、ペナルティエリア線上を中心にドリブル、DFを背にした馬場にパス、馬場は壁になってボールを返す。小泉はそれを受け取り弾丸ライナーシュート。ボールはGKのセービングを無にしてゴール右下隅のネットを揺らした。待望の得点だった。1-0。

前半を1-0で折り返し、後半に入る。前半接触プレーで膝を痛めた馬場に代わり、星が入る。

相手は前半に動き過ぎたのか、後半になると活動量が落ちてきたのがわかった。

後半開始1分、<*>から小泉に縦パス1本、キラーパスが出る。小泉はいきなりGKと1対1に、相手GKは躊躇せず小泉との距離を詰めてシュートの角度を無くした。この勝負はGKが優った。

後半5分、相手左DF陣の裏にボールが出る。ボールを奪取したのは佐々木(道)だった。ワントラップしてボールのバウンドの上がり端を左足で強蹴、ボールはゴール右上隅に一直線、弾丸ライナーだった。相手GKは反射的に飛んでコースを変えて失点を防いだ。佐々木は6/25に肉離れで負傷し、2ヶ月は療養が必要と覚悟していたので、この短期間でここまで回復するとは信じられない光景だったが、嬉しい限りである。

最前線トップが空くと田邊がそこを埋めていた。相手DFはマークせざるを得ず、その結果DFラインに空きができ、攻撃に有利な形になっていたようだった。午前中、副審をこなした田邊だったので体力も大分消耗しているはずなのに、それを全く感じさせないプレーだった。

後半17分、飲水タイムの準備をしていたら「ウォー！」という歓声が上がった。長浜が2点目を入れたと言う。飲水準備で監督もコーチも得点場面を見逃すと言う珍事だった。幸いビデオで見ることができたが、GK茂野からのボールが中央右の長浜に、長浜は軽快にペナルティエリア右前までドリブルで突破、シュートコースを切ろうと迫ってきたDFを左にかわす。GKも右に動いた瞬間を長浜は見逃さなかった。長浜は左足でゴール右下隅へ地

を這うようなシュートを叩いた。ボールは狙い通りの場所に吸い込まれていった。GKは逆を取られ動けなかった。2-0。

後半30分、絶妙の縦パスでゴール前ドフリーになった小渕だったが、あまりの絶好の場面に動搖したかゴールを逸した(皆んな経験しています)。

暑い中での試合、勝てて良かった。ビールがさぞかし美味かったことでしょう。

＼(^o^)／

【鈴木修平.記】

P.S 午前中、副審を担当してくれた田邊君に感謝です。

このアイリスGには10:15頃着く予定だったが、9:45頃に着いてしまった。その時、第1試合のバンブルビー白石とアイリスFCの後半戦をやっていた。後半は2-1で白石が勝っていたので、試合内容から白石が勝ったのかと思ったら、後で記録を見ると7-2でアイリスFCの勝ちだった。そのような大差の試合に見えなかつたが、いいグランドで練習するとそななるのかも知れない。第3試合のテルセーラ(仙台大)vs宮工クラブは14-0だった。

■2023年08月13日(日曜日) 県リーグ1部 第7節 東六クラブノスタルジア戦

試合開始 11:00 (40分ハーフ) 場所:めぐみ野Bグランド

【結果】 5-2で勝ち

【得点者】 長浜慧昌【1点目】

佐々木道滉【2点目】

佐々木道滉【3点目】

佐々木道滉【4点目】

佐々木道滉【5点目】

【アシスト】 梅田龍太郎【1点目】

向川大成【2点目】

なし【3点目】

なし【4点目】

なし【5点目】

【スタメン】 GK:沼澤聖¹⁶

DF:廣瀬海音^②、吉田竜也^③、遠藤聰^⑧、星京吾^⑫

MF:向川大成^⑩、小泉海翔^⑧、小渕瑛周^⑥

FW:長浜慧昌^⑦、佐々木道滉^⑯、梅田龍太郎^⑯

【控え】 坂元智行^⑯、茂野正紀^⑯

【交代】 梅田龍太郎^⑯→坂元智行^⑯、小渕瑛周^⑥→茂野正紀^⑯

【警告】 吉田竜也^③

【ベンチ】 鈴木修平、吉田和朝

【副審】 茂野正紀(13:00~14:35)

【評】

今日は、世間では盆の入りということでお寺界隈が混んでいた。以前は、帰省する選手でメンバーが11人集まらないことが多かった。それで事務局にお盆は試合を入れないようにお願いして配慮してもらっていた。しかし、コロナでグランドの確保が大変になったこ



ともありここ3,4年は配慮は無くなっていた。今年は開幕直前に全日程の見直しがあった事もあり、お盆の考慮などどこかへ行っていた。8月に入り、もしかしたら人が集まらないのではないかと心配をしたが、杞憂に終わった。

今年は異常に暑く熱中症で亡くなるニュースも多い。宮城県サッカー協会から8/7に異例の「熱中症対策の徹底について」のメールが来ていた。とは言え、飲料水・氷を普通時の倍を用意すことくらいしか出来ないのだが。

今日の相手は、東六クラブノスタルジアだ。クラブチーム選手権では1-1で決着がつかず、PK戦となり7-8で負けた相手である。昔から見て来ているが、チームレベルは高く、安定している。世代交代も上手く行っているようだ。今日も締まったきつい試合になるだろうとベンチは思っていた。

場所は、めぐみ野Bグランド。天然芝なので1日2試合のみ、芝生内の飲料水は「水」だけという制限がある。日影が無いので夏は辛い。

メンバーは13人。今日のGKは沼野、初めてのフル出場である。これまでなかなか力を発揮できる場面を作れなかったので、今日は絶好の機会であった。DFは廣瀬、吉田、遠藤、星。MFは向川、小泉、小渕。FWは長浜、佐々木(道)、梅田。

11:00、キックオフ。開幕当初はぎこちなかった連携プレーも、9試合をこなし相手と遜色ないレベルに感じた。相手は試合巧者で最初からガツガツとは来ないが、チャンスの時、危険を予知した時は厳しいプレーになる。

前半は、相手が得意とする両翼に展開し、外で勝負して中へ折り返し、ゴールを狙うというパターンが多く見られた。こちらの両サイドバックはそれを心得ていたか、フリーで中へ入れさせる場面は少なかった。しかし相手の方に押され気味に見えたことは否めない。

しかし、こちらも徐々に相手のDFを崩せるようになる。

前半16分、ゴール前へのスレーパスに小泉がクロスしGKに迫る。

前半17分、ゴール前の長浜にパスがピタリと決まる。長浜のシュートは枠を捉えるもゴールにはならず。

前半18分、21分にも外から相手DFを崩し、ゴールライン辺りから中に折り返し、合えば得点につながる場面があったがなかなか合わなかった。

両チームとも飲水タイムで息を吹き返す。

前半24分、中盤の<*>から前線の梅田に絶好のパスが出る。梅田はペナルティーエリア内で相手DFより先にタッチし、中へ狙いすましてセンタリング。走り込んだのは長浜。完璧なトラップでボールのスピードを殺し、間髪を入れずシュート。豪快にネットを揺らした。1-0。どちらかというと攻められていた感じがこれで一変する。

前半32分に不本意にも1点を失う。長浜の何でもないバックパスをGK沼野が相手のクロスと勘違い。「余裕のキヤッチ」を見せたのだが・・・。笛が吹かれ、動転した沼野は思わずボールをリリース。試合巧者の相手が見逃してくれるはずも無く、素早いリスタートからあえなく失点。(最終スコアを見れば、これもご愛敬?)

その後は立て続けにDFラインを突破しゴールを脅かしたもの、前半を1-1で折り返す。

GK沼野は、「ご愛敬」を除けば、全体としてDF陣とも上手く意思疎通し、最後まで

安心して見ていられた。パントキックは普通に蹴ったように見えたが、ハーフラインを軽く越していた。ベンチではその度に「オーッ！」と驚きの声が上がっていた。

後半に入る。

後半3分、右サイドで向川から佐々木(道)に絶妙の縦パス。佐々木(道)はボールを受けると同時に相手D Fと向き合い、ボールを左に軽く捌く。一瞬で相手D Fと体を入れ変える。ゴールまでは大分距離があったが左足を振り抜いた。地を這うような弾丸ライナーはG Kの反応を無にしてゴールネットに突き刺さった。ボールの弾道は見えなかつた。2-1。待望の追加点だつた。時間帯も良かった。

後半開始早々、待望の追加点をゲットできたが、相手チームには1試合平均3得点の力がある。次の得点をどちらが取るかが勝敗の分かれ目になるのだろうというのがベンチの意見だつた。暑いので両チームの選手達の消耗・疲労は大きい。相手チームも歴戦の強者揃いとは言え体力の消耗は同じようだつた。

後半19分、佐々木(道)が3点目を入れ3-1として喜んだが、相手も得意の左サイドからの突破で見事なシュートを決め1点を返し3-2とする。

ミスした方が負けるであろう厳しい試合となり、それは終了間際まで続いた。

アディショナルタイムに入った後半41分、<*>からの絶好のパスを受けた佐々木(道)はペナルティーエリア内へドリブルし鋭く切り返した。相手D Fはたまらず足を払ってしまった。当然PKとなつた。4-2。この時間帯にこの失点は痛い。1点差なら「引き分け」の可能性は残つてゐるが、2点差では無理である。相手は気落ちしたであろう。

終了のホイッスルが秒読みになつた後半43分、佐々木(道)は<*>から絶妙のパスを受けた。快速を飛ばしてゴールに迫りG Kの左脇を抜いてネットを揺らした。これがラストプレーとなり終了のホイッスルが鳴つた。5-2。相手チームのベンチからは何度も⑯に注意するように指示が出ていた。相手D F陣は忠実にそれを実行していたと思う、アディショナル・タイムまでは。相手にとっては「信じられない3分間」になつてしまつたのではないか。佐々木道混 畏るべし。

【鈴木修平.記】

P.S 試合直後、副審を担当してくれた茂野君に感謝です。

今日、茂野はフィールド・プレイヤーとしてデビューした。以前、本人は「FPはあまり・・・」と言つていたので得意ではないのだろうと勝手に思つていたが、どうしてどうしてドリブルは上手いし、ベテランの相手FWのスピードにも当たりにも負けていなかつた。上背があるのでヘディングでも負けないし、新戦力！発見。

■2023年08月20日(日曜日)県リーグ1部 第8節 塩釜FC戦

試合開始 13:00 (40分ハーフ) 場所:鳥の海運動公園

【結果】 2-1 で勝ち

【得点者】 坂井響【1点目】 佐々木道混【2点目PK】

【アシスト】 なし【1点目】 なし【2点目】

【スタメン】 GK:沼野陸⑯

DF:田邊悠太⑯、廣瀬海音②、遠藤聰⑥



MF：鈴木涼平⑤、向川大成⑩、内海公平⑪、佐々木道滉⑯、馬場光一⑫

FW：長浜慧昌⑦、坂井響⑭

【控え】梅田龍太郎⑬

【交代】内海公平⑪→梅田龍太郎⑬ (50分)

【警告】なし

【ベンチ】吉田和朝

【副審】遠藤聰(11:00~12:35)

【評】

先週に引き続き、大学院生の一部がインターンシップ等で欠場したものの、久しぶりに参戦のメンバーを加えて、なんとか12名でキックオフ。グラウンドは、昨年から相性が悪いと「思い込んでいる」鳥の海総合運動公園。気温・湿度とも高いが、海沿いで風があること、雲が多く「炎天下」の時間帯が少なかったことが救いか。

相手は塩釜FCヴィーゼ。なんと来週も同じ会場で第9節を戦う事になっている。どういうマッチコントロールなんだろう？？

開始早々好機が訪れる。1分、久しぶり登場の内海が左サイドをドリブルで駆け上がり、精度の高いクロス。佐々木が左足で狙うもバーの上。

6分には佐々木が右サイドを切り裂いて2人をかわして強烈なフィニッシュも、相手GKがナイスセーブ。

続く7分にも相手のクリアミスからまたも佐々木に渡りゴールを狙うがGKにキャッチされる。

12分、今度は右サイドをドリブル突破した佐々木が相手スライディングをかわしてシュートもセーブされる。（それでも最後はかならず佐々木・・・）

26分、ゴール正面で得たFK。役者代わって向川が左足で絶妙に枠を捉えるも、本当に「枠を捉えて」しまってバーに阻まれる。

27分に相手カウンターでピンチを迎えるが、相手シュートをキャッチしたGK沼野からコントロールされたパントキックが前線へ。坂井が抜け出して相手GKの位置を見ながらループを放つ。残念ながらバーの上であったが、これが後の布石となる。

立て続けの29分、またも佐々木がゴール左を狙いますも、相手GKがこの日一番のファインセーブ。

前半はスコアレスかと思われた37分、ショートカウンターから坂井がまたもミドルを狙うと、今度は見事にコントロールされた弾道でゴールに突き刺さる。（本人も「先の練習（？）が効いた」との談）

ハーフタイム、やはり消耗は隠せないが、1点リードが選手たちの表情を和ませている。

後半は両チームとも運動量は落ちてきたものの、激しい攻防は続き、徐々に相手の遅れ気味なタックルや、腕を使ったディフェンスが目立つようになる。その中でも佐々木のダイレクトプレー（ゴールへ向かう姿勢）は相手に脅威を与えており、厳しいコンタクトが続く。

49分、決定的なピンチを迎えるも、フィニッシュに入る相手の背後から、遠藤が見事な

スライディングでブロックしてシュートを打たせない。

ここで疲れの見えた内海に代えて梅田を投入する。交代メンバー使い切り、アクシデン
トの起らぬことを祈る。

63分、佐々木、向川、長浜とつなぎ、長浜が左足でカーブをかけたシュートはわずかに
ゴール右に外れる。

65分、坂井が、相手DFの自陣内キープを巧みに身体を入れ替えて奪い、ゴールに向か
うも角度が無く、シュートはあえなく左に。

72分、中盤からドリブルで持ち上がった向川が、相手DFの対応が緩慢になったところを
突いて、自らエリア内に持ち込む。たまらず相手のトリッピングとなりPK獲得。ここは密
かに（？）得点王を狙う佐々木が登場。ゴール左下に矢のような弾道で2点目。非常に良
い時間帯での得点で、ベンチは安堵する。

アディショナルタイムの86分、ラストプレーと思われるCKを獲得。2点差を意識したDF陣
がゴール前へ押し寄せようとするも、さすがに相手と同人数の守備へと思いとどまらせる。

しかし、この判断は甘かった。相手の今日一番のカウンターを浴び、見事なフィニッシュ
で2-1。

ゴールと同時にタイムアップとなったものの、次週も同じ相手と対戦するだけに、余計
な失点と言わざるを得ない。

とはいって、高温・高湿のうえに終盤は雷鳴とどろく中の消耗戦。勝ち切ったことは良
しとしましょう。

【吉田和朝.記】

■2023年08月27日(日曜日) 県リーグ1部 第9節 塩釜FCヴィーザ戦

試合開始 11:00 (40分ハーフ) 場所:鳥の海運動公園グランド

【結果】 8-0 で勝ち

【得点者】 坂井響【1点目】佐々木道晃【2点目】長浜慧昌【3点目】坂井響【4点目】小
渕瑛周【5点目】向川大成【6点目】坂井響【7点目】長浜慧昌【8点目】

【アシスト】 小渕瑛周【1点目】なし【2点目】田邊悠太【3点目】長浜慧昌【4点目】坂井
響【5点目】なし【6点目】なし【7点目】なし【8点目】

【スタメン】 GK: 茂野正紀②

DF: 廣瀬海音②、田邊悠太⑦、遠藤聰⑧、

MF: 坂元智行⑨、向川大成⑩、小泉海翔⑧、
小渕瑛周⑥

FW: 長浜慧昌⑦、坂井響⑭、佐々木道晃⑯

【控え】 なし

【警告】 長浜慧昌⑦

【ベンチ】 鈴木修平、吉田和朝

【副審】 田邊悠太(15:00~16:45)

【評】

8月に3週連続で試合をするのは、監督になって初めてではないだろうか？ただでさえ暑
い8月に、今年は異常気象が重なっている。サッカーという激しいスポーツをこういう暑



い時にやって、よく熱中症にならないものだと感心する。みんな基本的に体が強いのだろうと思う。

今日の相手は、先週と同じ塩釜FCヴィーゼ。場所も同じ鳥の海運動公園。天気もほぼ同じで暑い。ユニフォームも同じ緑ユニ。メンバーは11人で、構成は先週と少し違った。

11:00キックオフ。先週対戦していてどういう試合をするか大体わかっているし、暑いので最初から激しいプレーは無かったが、ある程度の緊張感を持ってボールを回せたことが、その後相手ディフェンスを崩し一気にゴールを脅かす攻撃のスピードに繋がったような気がする。

最初に口火を切ったのは坂井だった。前半5分、右サイドを小渕がドリブルで上がる。ペナルティーエリアで待ち構えていた坂井にパスが通る。坂井は相手DFに囲まれながらペナルティーエリア内をドリブルする。「ここだ！」という所で左足を振り抜く。シュート・ボールはセービングしたGKの手前でバウンドし、ゴール左サイドネットに突き刺さる。1-0。

10分、中盤でボールは遠藤・長浜と回り、坂井が受ける。坂井は後ろから走って来る佐々木(道)のスピードと相手DFの位置を計算してボールを流す。佐々木(道)はその意図を完璧に読みゴールネット左下隅を揺らす、2-0。1点目、2点目ともGKの責になるような内容ではなかった。この後のゴールも含め相手GKにとって今日は「仏滅」と言えたのではないか。

28分、坂井が右サイドを駆け上がる。中を見定めて低いゴロのセンタリング。ゴール前に田邊が詰める。シュートには一寸タイミングが合わなかつたが、タッチされたボールはコースが変わり、スピードも殺されて長浜の前にバウンド。長浜はサイド・ボレーでゴール。3-0。難しいボールをよく合わせたと感心した。

28分、センターサークル付近から、長浜が坂井へ縦パス1本。坂井は厳しいボディ・チェックを受けながらも、相手DFをぶっちぎって4-0。

35分、左サイドで大きなロビング・ボールを軽くワントラップでコントロールした佐々木(道)、そのままゴールへ一直線。相手DFを一瞬で交わし、右足で強烈なシュートを炸裂させたがGKの好守に阻まれる。

38分、坂井が左サイド奥でボールを奪取。相手DFはなぜか詰めて来なかつた。坂井は狙いすまして中へセンタリング。小渕が「待ってました！」とばかりにボレー・シュート。誰もが決めたいと思うシュートでした。5-0。

後半に入る。

開始早々、ゴール前に向川が上がつた。ペナルティー・エリア付近でドリブルしていた佐々木(道)からロビング・ボールが向川に渡る。向川はゴール前で抜群のキープ力で相手DFを右へ左へ翻弄する。シュートすると見せかけて、相手DFの動きが止まつた所をシュート。6-0。ビデオで見るとそのタイミングが「圧巻」。

後半10分、坂井に<*>からパスが出る。俊足坂井は相手DFと競りながら、出て来たGKを交わし無人のゴールへボールを流し込む。7-0。

後半28分、<*>から長浜にパス。長浜は相手DFを得意のドリブルで翻弄し、ゴールネットを揺らす。相手DFは長浜のドリブルについて行ったが何度も逆を取られ、最後は

どうしようもない状態で天を仰いでいたように見えた。8-0。

大量得点ができた裏にはDF陣の堅い守りと、そこから早く攻撃の起点を作れたことによる所が大きい。

塩釜FCが県リーグ2部にいた時、何度か対戦したことがあった。クラブ組織で子供の頃からサッカーに触れ合い、メンバーには事欠かないと言う印象がある。これまでの戦績は勝ったり負けたりで、その時のメンバーで結果が変わるという感じだった。ただ、戦法は大体同じで、サイドからディフェンスの裏にボールを落としてゴールを狙う、と言うものだったようだ。一方、東北クラブはその年のメンバー構成でプレースタイルが全く違う。更に、学友会出身のメンバーが多い年は、狭い所も早いパスで突破してチャンスを作ることができる。去年・今年はそれに得点力が加わっている。それも1人ではない。2023年ワールドカップ女子「なでしこジャパン」のスピードあるカウンター攻撃を彷彿とさせると言えば身震いするであろうか。相手チームにとっては悪い年に当たってしまったかも知れない。【鈴木修平.記】

P.S 試合の後2時間も太陽に焙られてから、副審を担当してくれた田邊君に感謝です。

■2023年09月10日(日曜日) 県リーグ1部 第10節 仙台中田クラブ戦棄権

9/10(日)の第10節の仙台中田SC戦は、8人しか出席できないため「棄権」した。

■2023年09月24日(日曜日) 県リーグ1部 第11節 東六クラブノスタルジア戦

試合開始 13:00 (40分ハーフ) 場所:松島フットボールセンター1

【結果】3-2で勝ち

【得点者】坂井響【1点目】小渕瑛周【2点目】小泉海翔【3点目】

【アシスト】佐々木道晃【1点目】向川大成【2点目】向川大成【3点目】

【スタメン】GK:茂野正紀②

DF:星京吾②、鈴木涼平⑤、田邊悠太⑯

MF:長浜慧昌⑦、向川大成⑩、小泉海翔⑧、
小渕瑛周⑥

FW:内海公平④、坂井響⑭、佐々木道晃⑯

【控え】なし

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平、吉田和朝

【運営当番】鈴木修平、吉田和朝(8:00~12:45)

【副審】吉田和朝(11:00~11:40)、茂野正紀(11:50~12:45)

【評】

9/10(日)の第10節の仙台中田SC戦は「棄権」した。メンバー20人中12人が来れないという状況のためであった。そのため、今日の試合は約1ヶ月ぶりの試合となった。2日前から朝はぐっと涼しくなり、異例の猛暑も先が見えてきた感がある。

今日の会場は、松島フットボールセンター1。これまで県リーグに昇格してから、ここでは何度も試合をしてきたが今年は初めてである。利府のめぐみ野Cグランドが改修のた



め、鳥の海運動公園が多くなったのはわかるが、ここが少なくなった理由はよくわかつていはない。

今日の相手は東六クラブノスタルジアである。今年度は2戦して1勝1敗、相手にとつてみれば昨年度まで負けたことのない相手に苦戦しているので、原因を分析して対応してくるだろうことは疑いも無かった。手始めはマッチミーティングでユニフォームの色を決める時、相手からの要望でコイン・トスで決めることになった。いつもの青・青・青と緑・緑・緑は色が判別できない程では無いが白・白・白の方が相手をしっかりと判別できる。最終的にプレーの精度に関わってくるからだろうと勝手に思った。白・白・白はいつも車に積んであるから大丈夫である。トスの結果は・・・「勝ち」でウチが緑・緑・緑をとった。

13:00、キックオフ。今日のメンバーは12人の予定だったが、1人体調が悪く来れなくなり11人。内海に期待がかかった。今日のフォーメーションはD F陣は星京吾、鈴木涼平、田邊悠太。M F陣は長浜慧昌、向川大成、小泉海翔、小渕瑛周。F W陣は内海公平、坂井響、佐々木道滉。G K茂野である。

開始早々から精度の高いパスワークで攻守が入れ替わる。相手の気迫が半端なく伝わってくるが、それは織り込み済みである。そんな中、よく見ると相手D Fは普通なら楽に取れるであろうボールが「取れない」。何故だろうと考えてみたら、ウチの選手達は皆足が速いのだということに(今頃)気付く。

開始5分、相手陣内に切り込みCKを得る。ゴール前でヘディングの競り合いとなるが相手が優つた。

前半9分、前半14分、前半16分、前半17分とゴール前に迫るが相手D Fは鉄壁と言えるディフェンスで対応していた。

前半21分、ゴール前にロビング・ボールが出る。坂井が俊足を飛ばして迫るが相手G Kの好守に阻まれる。

続く22分、右サイドからのスローインを<#1>がゴールラインまでドリブル、中を見定めて速いボールを入れる。坂井に合ったと思ったら・・一瞬前G Kが手では無理と判断し足にボールを当て坂井のゴールを無にしてしまった。G Kの好守だった。

前半26分、27分とゴールに迫るが、相手D Fに阻まれた。後でよく見ると相手D Fは常に数的優位を作り、加えてこれまで得点された選手には十二分なマークをしているように見えた。

しかし、その鉄壁のD Fも破られる時が来る。前半28分、左サイドでボールを受けた佐々木(道)がドリブルで駆け上がる。佐々木(道)のドリブルはいつでもカウンターと言っている。相手D Fは2人がかりでも止めなければならぬやつである。左前を田邊が走っていた。中には坂井がいた。佐々木(道)にはパス・コースが2つあった。左の田邊か?、中央の坂井か?、田邊に出せば即シートに行けるがD Fはそれを読んでいる。佐々木(道)は坂井を選んだ。アーリーカロスの速いボールを相手D Fの頭上を越して中央に入れる。狙い違わず坂井の前に落ちる。しかし、佐々木(道)のボールは速い。タッチが遅れればチャンスを失ってしまう。坂井はスリー・バウンドでは間に合わないと判断し、ツー・バウンドの頂点でボールを押さえた。ペナルティーエリアを出る少し前だった。角度としては普通はゴールにならない角度になっていた。しかし、坂井は迷わずシュートした。ボールの

軌道は見えず「ガン！」と音だけがしてボールはゴール前を転々としていた。ベンチでは「入らなかつたのか？」と訝しんだ。しかし、ゴールの後ろのポストに当たつて出てきたもので、ゴールラインだった。待望の先取点で1-0。

前半32分、33分にもゴールを脅かしたが追加点には至らなかつた。

前半36分、相手の豪快なゴール・バー直撃のミドルシュートで1-1の同点とされる。終了前5分間の失点は防ぎたかった。

後半に入る。

開始早々キックオフから30秒、ボールはあれよあれよという間に相手ペナルティーエリア前に。ドリブラーは向川。相手DF3人に囲まれながら、右を走り込む小渕に最後のパス。向川と小渕の間には相手DFが2人いたがその間隙を縫つてのパスだった。よくも通したと思えるパスだった。パスを受けた小渕はワントラップして迷わず右足を振り抜く。GKの頭上を豪快にぶち抜くシュートで2-1。前半の、終了前5分のお返しができた。

後半3分、坂井がゴールを脅かすが詰め切れず一旦MFへボールを戻す。そのボールを<*>がセンタリング。ゴール前に飛んだボールに右から詰めた俊足は小泉。相手DFも危険を察知して合わせまいとゴール前で交錯した。ボールは相手に味方した。

後半10分、ゴール前の競り合いから流れたボールに坂井が反応して、あわやゴールかと思われる場面があったが、そう上手くは行かなかつた。

相手の両サイドには俊足ウイングがいる。右からでも左からでもスピードとテクニックで切り崩して得点してくる。これまでその戦法に屈してきた。今年のDFはそれを抑えている。今日も右を星が、左を田邊が、そして真ん中を鈴木(涼)を中心に、MF向川、小泉、長浜、小渕が抑えている。スピードにも、競り合いにも互角以上に対峙していた。加えて、チャンスと見れば俊足を飛ばしてオーバーラップして前線に上がる。昔のサッカーでは考えられない光景であった。

残り10分を切るまで、緊迫した試合が続く。百戦錬磨の相手がこのまま2-1で終わるとは思えなかつた。後半34分、悪い予感は当たる。2-2。残り時間は約6分、この時間帯での同点はもう1点取れば逆転できるというムードがチーム全体に広がる。対してこちらは逆の気持ちになることは何度も経験してきたことである。自然とベンチも言葉少なになつた。

攻撃にはリズムとノリ、冒険心と遊び心が必要である(と思う)。義務感だけで動いていようとそれは出て来ない。トンペイクラブにはそれが感じられる。「何かやってくれそうな」期待感がある。他のチームと違うのはそこかも知れないと思う今日この頃である。

後半40分、そんな場面を又見ることができた。中盤真ん中を向川がドリブルで上がる。当然、相手DFがブロックする。代わる代わる3人が来た。しかし、止められない。一度ボールが離れるが、再びペナルティーエリア内の向川にボールが渡る。下手に足を出すとペナルティーになるので相手もそこは慎重だ。相手DFを翻弄して、絶好のタイミングで小泉にパス。ゴールエリアにいた小泉はトラップする前に重心を移動してフェイントをかけた。そのため相手DFの反応は一瞬遅れた。小泉は紙一重の差で右アウトサイドでプッシュ。ボールはゴール右サイドネットを揺らしていた。GKも反応していたが届かなかつた。3-2。劇的な決勝点となつた。【鈴木修平.記】

P.S いつもは十分な余裕をもって来てくれる、副審予定だった茂野君が今日に限って10分前になつても来ない。「鳥の海」に行ったのでは?などと憶測したが、道路渋滞のためと判明。前半は吉田さんが対応してくれ事なきを得ました。お二人ともありがとうございました。

■2023年10月01日(日曜日) 県リーグ1部 第12節 多賀城FC戦

試合開始 13:00 (40分ハーフ) 場所:松島フットボールセンター1

【結果】3-0で勝ち

【得点者】小渕瑛周【1点目】坂井響【2点目】佐々木道滉【3点目】

【アシスト】佐々木道滉【1点目】なし【2点目】なし【3点目】

【スタメン】GK:茂野正紀①

DF:廣頬海音②、田邊悠太⑦、向川大成⑩、遠藤聰⑯

MF:長浜慧昌⑦、小泉海翔⑧、小渕瑛周⑥

FW:坂井響⑭、佐々木道滉⑯、星京吾⑫

【控え】なし

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平、吉田和朝

【主審】高橋 翼(9:00~10:40)

【副審】小泉海翔(9:00~10:40)

【評】

朝方雨だった空模様もお昼頃には晴れた。時折、ついこの間までの真夏の日差しを思わせるが、吹く風は秋であった。

今日の対戦相手は多賀城FC、場所は先週と同じ松島フットボールセンターだ。集合人数は11人。先週と人数は同じだが、メンバーは少し違った。

2014年に宮城県リーグ2部に昇格して県リーグの第2節の相手が「多賀城FC」だった。多賀城FCが1部に昇格するまで何度も戦った相手である。ガツガツとしたプレーは少なく、鷹揚で紳士的な感じがするチームである。そのため、攻撃しやすいように勘違いして攻めまくると、早いコートチェンジからのカウンター攻撃で失点することになる。基本的に守備は強い。蟻地獄的な老舗さに泣きを見ない事を願った。

13:00キックオフ。お互い様子を見ながら中盤を制しようとする。

開始早々2分、FKを得る。キッカーは佐々木(道)、壁の間を通そうとしたが相手に当たる。

前半7分、向川からのパスでシュートまでいくがゴールは捉えられず。

前半12分、佐々木(道)、長浜。

前半24分、佐々木(道)。

前半34分、坂井。

前半36分、小渕がハーフラインから少し相手陣内に入った所でロングシュートを放った。

ボールはゴール右上隅に一直線、相手GKは危険を察知して素晴らしいセービングで小渕



のゴールを無にした。

後半に入る。

後半2分、右から速いドリブルでゴール前にセンタリングしたが、中でほんの少し合わなかつた。

後半6分、ペナルティーエリア右外から中にボールが入る。小渕が絶好の位置にいたがタイミングが合わず。

後半9分、D F 廣瀬から前線中央に走った田邊に絶好のパスが通るが、相手D F の好守に得点できず。

中盤ではボールを拾え、パスも通る。しかし、最後の詰め・勝負に入ろうとする時、どうもリズムが合わない。早かったり、遅かったりワンテンポずれる。それが続くと疲れにつながる。幸い選手の年齢が若いこともあり疲れが守備の破綻にはつながらなかつたが、この最後の突破できそうでできない状況は過去何度もベンチは経験しているが、現メンバーにとてはたまたまうまくいかない状況でしかないのである。

0 – 0。膠着状態が続く。

今日のD F陣は、センターを廣瀬、両サイドを田邊、遠藤が担つた。向川がボランチで最初は守備に重点を置いていたようだ。ここまで相手チームに決定的なチャンスを殆ど与えなかつた。しかし、いつもならD F陣からのパスが攻撃の起点となつて決定的なチャンスまでいくという流れがどうも上手く行かなかつた。早かったり、遅かったり、タイミングが一寸ずれたり・・。ベンチでは「これが多賀城FCなんだよね」と妙に納得していた。、

後半20分、左から坂井がゴール前に肉薄する。前にはD FとG Kがいるのでシュートしてもゴールは難しい。坂井はゴール前を斜めに横切るボールを出す。そのまま行けばゴールラインを割るコースだった。相手G Kは危険を察知して追つた。そこにはいつ現れたか佐々木(道)の姿があつた。相手G Kより一瞬早くボールにタッチ。ボールはゴール前に・・そこには小渕が待つていた。無人のゴールにボールを押し込んだ。1 – 0。待望の得点だつた。

後半30分、中盤でD F 3人を前にボールをコントロールした坂井は、まず目の前のD Fを右にかわした。一瞬でフリーになる。ゴールまではまだ30mはあったと思う。相手D Fはドリブルで抜いてくるだろうと思ったに違ひない。すぐには詰めて来なかつた。坂井はいきなり右足で強蹴した。次の瞬間、ボールはゴール左上隅に突き刺さつていたのだが見えなかつた。これまで何度もファインプレーでゴールを死守してきたG Kのセービングも叶わなかつた。決まる時の坂井のシュートは速くて見えないので。

これで攻めあぐねていた気分が一変した。相手には疲れが感じられるようになり、攻撃に拍車がかかつた。

後半32分小泉。後半33分,34分と長浜。後半35分坂井。

後半37分、田邊のペナルティーエリア左外からのカーブ・シュートはもう少し内側なら入つていたであろう。

後半40分、左ペナルティーエリア付近でパスを回し、ペナルティーエリア中央にラストパス。坂井と相手D Fがペナルティー・キックマーク通りで交錯した。坂井が倒れ「ピィー」と主審の笛が鳴る。ペナルティーとなつた。キッカーは佐々木(道)。足の具合を一寸心配

したが杞憂に終わった。右隅に決めて3-0。直後にタイムアップの笛が鳴った。

県リーグ1部の中でトンペイクラブは消化試合数が12と最も多い。そのため、宮城県サッカー協会のホームページの成績表ではこの3か月くらい1位となっている。

今後どうなるかわからないが、「1位 東北クラブ」の光景を見ているのはちょっと心地良い。

【鈴木修平.記】

P.S 副審を務めてくれた小泉君に感謝です。今回は主審も割り当たっており、佐久間君の尽力で高橋翼さんにお願いすることができました。ありがとうございました。

■2023年10月15日(日曜日) 県リーグ1部 第13節 教員クラブ戦

試合開始 11:00 (40分ハーフ) 場所:アディダス・スポーツパーク

【結果】 1-2 で負け

【得点者】 佐々木道晃【1点目】

【アシスト】なし【1点目】

【スタメン】 GK:沼野 那陸①

DF:廣瀬海音②、田邊悠太⑯、向川大成⑩、

MF:長浜慧昌⑦、小泉海翔⑧、小渕瑛周⑥
鈴木涼平⑤

FW:坂井響⑭、佐々木道晃⑯、星京吾②

【控え】 茂野正紀⑯、馬場光一⑭、遠藤聰⑯

【交代】 沼野那陸①→茂野正紀⑯【後半】、星京吾②→馬場光一⑭【後半】、
小渕瑛周⑥→遠藤聰⑯【後半】

【警告】 星京吾、遠藤聰、坂井響、小泉海翔

【ベンチ】 鈴木修平、吉田和朝

【副審】 SC75.佐々木監督

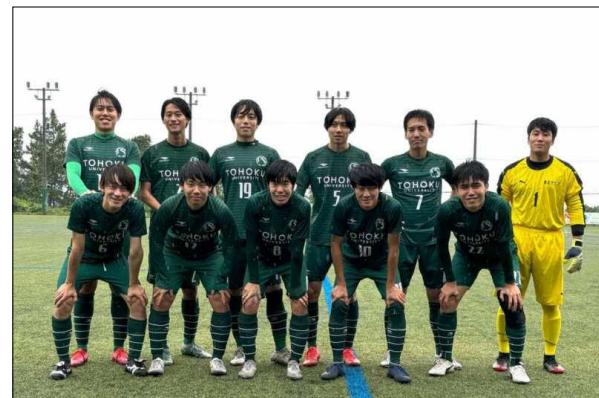
【評】

前の試合が10分ほど遅れて終了したので、練習する時間がほとんど無かった。遅れた原因は、実はウチにあった。第1試合の副審が割り当たっていたのだが、時間になつても現れないし連絡もつかないのでギリギリまで待ってくれたためであった。SC75の佐々木監督が副審を申し出してくれ、諸チームに迷惑をかける最悪の事態だけは避けられた。

今日は、天気予報どおり「雨」だった。しかも寒い。今日の相手は教員クラブだ。相手は皆長袖だったのに対しこちらは半袖のユニフォームのままで、満足なウォーミングアップができないまま、試合開始となった。

11:00キックオフ。案の定、皆動きが硬くいつもの軽快さが無い。開始5分間は失点しないように十分注意していたであろうが、開始3分ゴール前でフリーになった相手FWにゴールを決められる。0-1。

時間が経過するにつれて徐々に動きも良くなって、いつもの連携プレーが見られるようになった。今日のDF陣はGK沼野にCB廣瀬、両翼を向川と田邊。相手は体力に任せて最初からこちらのDF陣にプレッシャーをかけてきた。最初は心配だったが、途中から安心して見ていいられるようになった。



MF陣は真ん中を鈴木(涼)と小泉。サイドを小渕と星が担い、チャンスを見ればすかさず上がっていた。

FWは坂井、佐々木(道)、長浜。最初こそ思うような動きができなかつたようだが、15分を過ぎたあたりからにいつもの軽快さが感じられるようなつて行った。

今日は暑くないので飲水タイムは無かつた。これまでいつも飲水タイムでやつていた微調整が出来なかつたようで、飲水タイムの重要性を改めて認識した次第。

前半8分、10分、16分と中盤からパスをつなぎ、ミドルシュートを放つ。雨の日はこれが有効である。

前半20分、CKからゴール前であわや得点か！と思われる場面があつた。

前半22分、佐々木(道)が右から中央にドリブルし、それに鈴木(涼)が直交してシュートする場面があつた。ゴールの枠をわずかに逸れたが、捉えていたら入つていたかも知れない。

前半26分、中盤のパスクから最後は右から走り込んだ星へ。いいシュートだつたがGKに阻まれる。

雨にも慣れ、DFを起点にして中盤からのキラーパスで得点を狙うが相手の守りは堅かつた。。

しかし前半32分、この流れから右ペナルティエリア外でボールをキープした佐々木(道)は相手DFと対峙する。ドリブルで2、3度相手を揺さぶる。一瞬相手の動きが止まつた時、左足が炸裂した。ボールはかなりのスピードで飛んで行つた。大きくカーブしたボールはゴールポスト左上に当たつてゴールイン。「オーッ！」という歓声が上がつた。待望の同点ゴールだつた。1-1。

ムードは一気に上がり、34分、35分、38分とゴールに迫るが追加点にはならなかつた。

後半に入つても攻勢は変わらなかつた。相手はDFを増やし守備に厚みを持たせて來たよう見えた。こちらは、GKを茂野に、星と小渕に代え馬場と遠藤を入れリフレッシュを図る。

DF陣が何か「ぎこちない」という感じが続いていた後半11分に失点してしまう。1-2。後から考えると選手交代のやり方が拙かつたのではないかと思つた。いつもであればハーフタイムに打合せておくのだが、今回はそれをしなかつた。加えて一緒に交代すれば良いものを別々にしてしまつた。守備がぎこちなくなるのも頷ける。更に2人一緒であれば遠藤がイエローカードをもらう事も無かつたと悔やんだ。

例年、開幕当初はメンバーが半分近く変わるのでチームとしてしっくりこないが常だ。しかし試合を重ねるにつれ見違えるような連携プレーでいい試合をするのが我がチームの特色だつたのだが、今日の試合はそれを感じさせてくれた。

守備が強い相手でも外からえぐられ、中に折り返されて合わせられるとどうしようもないものである。それをイメージして攻めているのがわかつた。これは口で言つるのは簡単だが、サイドでパスを繋ぐのが難しい。縦パスを通すのは難しいのだ。それを事もなく繋いでいたのに驚く。しかし、相手DF陣はそれも想定していたように見えた。中に入つてくるセンタリングはあと一歩というところで決定的瞬間にはならず、相手のゴールを割ることができなかつた。

相手の守備の布陣が功を奏したか我々の得点チャンスは実らなかつた。初戦の0-2をリ

ベンジしたかったか叶わなかった。しかし、試合内容は良かった。得点1を良しとしたい。

今日の試合、我がチーム4選手にイエローカードが出された。過去こんなに出されたことは無いと思う。チームとしては過去何度もフェアプレー賞を受賞しているし、いいプレーを常に心がけているチームである。イエローカードは「故意である」「悪質である」「プレーヤーを危険から守る」ことに重きを置いて出してくれる事を願いたい。

【鈴木修平.記】

P.S 副審をやっていただいたSC75の佐々木監督に御礼申し上げます。

■2023年10月29日(日曜日) 県リーグ1部 第14節 中新田SC戦

試合開始 13:00 (40分ハーフ) 場所:鳥の海運動公園

【結果】 0-1 で負け

【得点者】 なし

【アシスト】 なし

【スタメン】 GK: 茂野正紀①

DF: 廣瀬海音②、鈴木涼平⑤、向川大成⑩

星京吾②

MF: 長浜慧昌⑦、佐々木道晃⑯、小渕瑛周⑥

FW: 坂井響⑭、馬場光一⑭、梅田龍太郎⑯

【控え】 なし

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、吉田和朝

【運営当番】 鈴木修平、吉田和朝、馬場光一、向川大成(12:40-16:50)

【副審】 馬場光一(15:00~16:40)

【評】

今日の会場は「鳥の海運動公園」である。今年は圧倒的にこの会場の使用が多かった。

集合時間の9:30頃に着いた時、「？」違和感を感じた。すぐにはわからなかつたが、中に入ってわかつた。これまで土なのでこぼこだった駐車場が立派なアスファルトになっているではないか。おまけに車の境界線まで綺麗にひかれている。この前来た時(9/10)はまだ土だったので2ヶ月足らずで出来上がったことになる。今年県リーグの会場使用が大幅に増えたことが貢献しているのは間違いないだろう(^_^;)と思った。綺麗にはなつたもののグランドまで遠くなってしまった。

朝晩めっきり寒くなり、一日ごとに日の出が遅く日の入りが早くなっている今日この頃である。この4,5日は晴が続いていたが今日の予報は「雨」だった。覚悟して來たが、ここ鳥の海は午前中は太陽も顔を見せる晴れでラッキーだった。

今日集まったメンバーは11名。体調不良で2名が来れなかつたようである。相手が相手なので交代がないのは辛いものがあったが、チームの運命を左右する試合では無かつたので気は楽であった。加えて最終戦にM2の全員が來れたのは幸いであった。

11:00キックオフ。今日の相手は中新田SCだ。ここ何年間、毎回厳しい試合をしてきた。その感覚が蘇る。メンバーが大分若返ったと試合前、相手監督が言っていた。中新田SCは



守備が強いチームである。それは失点が少ない事に表れている。昨年県リーグ2部でもそうだったが、1部でも同じようである。守備が強いと言うことは、こちらの得点が難しいと言う事である。しかし、不思議なことに得点は意外に少ない。ここが勝敗の分かれ目とベンチは見ていた。

開始から比較的緩くボールを回しながらリズムを作るような流れで試合は進んだ。天候は、どちらかと言えば寒いのでまだ動きが硬いようであった。相手の方が中盤を制してゴールを狙う機会が多い感じだった。

今日のフォーメーションは、GK茂野、DF廣瀬、鈴木(涼)、向川、星。MF長浜、小渕、佐々木(道)、FW坂井、梅田、馬場である。いつもと違いFW系が多いので相手DFからの攻撃をどれ位抑えてくれるかが懸念材料であった。

こちらがまだ試合に慣れていない前半8分、ゴール前で相手FWに絶好のチャンスが訪れた。外しようがないシュートを決められて先制される。0-1。

相手チームの守備は堅い。追加点を取れば勝ちはほぼ確定する(と思ったはずである)。先取点を取ったことで相手の攻めが激しくなる。そうなるとGKが忙しくなるのが常であり、今日の茂野は結構忙しかった。危ない!と言う場面も何度もあったがファイン・プレーで前半26分、前半36分他すべて無にした。

こちらも徐々に攻撃の歯車が噛み合って来る。

前半25分、中盤から出た縦パスに坂井が追いつく。GKと交錯する一瞬前に触るが、GKの足に阻まれる。

前半32分、ゴール手前で梅田が絶妙の動きでGKの前まで行くが阻まれる。

後半に入りようやく本来の攻撃シーンが見られるようになる。

後半5分、右サイドでせめぎ合う。一瞬の隙を突いて小渕が飛び出す。一気にゴールライン前までドリブルし中へ折り返す。佐々木(道)が受けたがタイミングが合わず。

後半9分、右サイドから坂井がボールを中へ速いパスを入れる。佐々木(道)が受け、間髪を入れずミドルシュート。これがゴール前の長浜にパスとなる。出て来たGKより先に触れシュートしたがわずかにゴールを切れる。

後半13分、中盤左から佐々木(道)へ縦パス。追いつかないかと思うような速いパスだったが俊足佐々木は間に合って中へスライディングでセンタリング。中には小渕が待っていたが合わなかつた。

後半24分、中盤で長浜に縦パスが通る。長浜は相手DFを翻弄してゴール前で狙いすまして強烈なシュート。こういう場面でこれまで何度も決めて来た長浜なので入ったかと思われたが、バーを叩いて出てきてしまいノーゴール。

後半38分、中盤左からペナルティーエリア中央付近の坂井にパスが出る。坂井は競り勝ちGKと対峙する手前でボールをゴールへ流し込んだ・・・はずだったがボールはGKの足に当たりコースを変えた。いつもなら入ったタイミングだったが今日は何かが違った。遂に相手の鉄壁の守備を破ることはできなかつた。

今日は運営当番が割当たっていた。最終戦なので試合終了後、メンバーと色々話をしたかったができなかつたのが残念であった。運営当番の第3試合を吉田さんと馬場君が、第4試合を向川君が手伝ってくれた。第3試合はまだ明るかったが、第4試合の後半は薄暗

くなつて選手の識別が難しい状況だった。一人だったらパニックになつたであろうところ、向川君のお陰で得点者・アシスト者を特定することができ問題無く終えることができた。

今日は最終戦であった。これまでのリーグ戦で10月末が最終戦だったことは初めてかも知れない。早く終わるのが良いどうかはわからないが、県リーグ1部8チーム中一番目の「上がり」である。今年度もいいプレーでいい結果を残してくれたメンバーとすべてのスタッフに感謝します。

【鈴木修平.記】

P.S1 副審を務めてくれた馬場光一君、向川大成君に感謝です。

P.S2 第4試合の主審は佐久間君でした。久々に観ましたが教員クラブと東六クラブノスタルジアの緊迫した試合を何の問題も無く捌いて、観客も感心しているようでした。県から派遣されるので諦めるしかありませんが、間違つて自分達の試合に派遣されることを期待したい。



第47回 宮城県サッカーリーグ1部個人成績表 得点ランキング アシストランキング

順位	氏名(チーム名)	ポイント
1	加藤僚太(中新田)	12
2	早坂龍二(東六)	11
2	佐々木道滉(東北)	11
4	坂井響(東北)	9
5	佐藤太陽(中新田)	8
5	村岡洸(多賀城)	8
7	長浜慧昌(東北)	6
7	中館晟(中新田)	6
9	加賀大夢(中田)	5
9	高橋惇(多賀城)	5
9	細川翔太(教員)	5
12	鈴木奏羽(中新田)	4
12	早坂壯太(中新田)	4
12	村上一翔(塩釜)	4
12	武者智宏(多賀城)	4
16	横浜翔太郎(多賀城)	3
16	三浦尚士(教員)	3
16	小渕瑛周(東北)	3
16	菅井勝哉(75)	3
16	長南拓海(塩釜)	3
16	山田勇司(教員)	3
16	鎌田秀和(教員)	3
16	高橋智也(中新田)	3
16	久光駿太(東六)	3
25	片柳翔吾(東六)	2
25	鈴木綾介(中田)	2
25	菅原翔太(教員)	2
25	小泉海翔(東北)	2
25	黒川涼平(教員)	2
25	遠藤未希斗(75)	2
25	鈴木達也(中新田)	2
25	制野憲司(中田)	2
25	古内秀明(教員)	2
25	高橋宙夢(中田)	2
25	木川田健人(塩釜)	2
25	斎藤歩(中田)	2
25	伊藤将(多賀城)	2
25	黒川眞平(教員)	2
25	若生智仁(中田)	2
25	竹森優(多賀城)	2
41	赤坂柊(塩釜)	1
41	佐藤柊斗(塩釜)	1
41	阿部空矢(塩釜)	1
41	渡邊裕太(東六)	1
41	福原大雅(東六)	1
41	今野克則(中田)	1
41	高内啓佑(東六)	1
41	青野友亮(教員)	1
41	斎藤裕也(多賀城)	1
41	鈴木崇俊(多賀城)	1
41	福原功大(東六)	1
41	岩松大葵(中新田)	1
41	岸建斗(東六)	1
41	馬場光一(東北)	1
41	三橋雄介(塩釜)	1
41	高橋良摩(教員)	1
41	遠藤蒼太(塩釜)	1
41	大沼飛翔(75)	1
41	越場康平(東六)	1
41	梅津虎太郎(東六)	1
41	田邊悠太(東北)	1
41	滝村勇樹(東六)	1
41	穀田篤志(教員)	1
41	小松蓮(75)	1
41	大友圭一郎(教員)	1

順位	氏名(チーム名)	ポイント
1	加藤僚太(中新田)	10
2	久光駿太(東六)	6
2	佐々木道滉(東北)	6
4	武者智宏(多賀城)	5
4	早坂壯太(中新田)	5
6	村岡洸(多賀城)	4
6	佐藤太陽(中新田)	4
6	高橋晋(中田)	4
6	大槻翔馬(塩釜)	4
10	坂井響(東北)	3
10	鈴木綾介(中田)	3
10	向川大成(東北)	3
10	滝村勇樹(東六)	3
10	伊藤将(多賀城)	3
10	穀田篤志(教員)	3
10	松原智也(中新田)	3
10	鈴木翼(塩釜)	3
18	黒川涼平(教員)	2
18	高橋智也(中新田)	2
18	土師直大(教員)	2
18	岸建斗(東六)	2
18	福原功大(東六)	2
18	長澤洸希(75)	2
18	小泉海翔(東北)	2
18	中館晟(中新田)	2
18	荒木竜也(75)	2
18	小渕瑛周(東北)	2
18	山田勇司(教員)	2
29	阿部貴哉(東六)	1
29	梶木駿(75)	1
29	片柳翔吾(東六)	1
29	吉田大峰(中新田)	1
29	中山陸(塩釜)	1
29	竹森優(多賀城)	1
29	庄司隼也(教員)	1
29	斎藤裕也(多賀城)	1
29	千葉奏汰(中新田)	1
29	長浜慧昌(東北)	1
29	若生智仁(中田)	1
29	三橋雄介(塩釜)	1
29	石鉢薫(中田)	1
29	西出光希(75)	1
29	斎藤歩(中田)	1
29	馬場光一(東北)	1
29	田畠寛実(教員)	1
29	茂野正紀(東北)	1
29	鈴木奏羽(中新田)	1
29	梅津虎太郎(東六)	1
29	大沼飛翔(75)	1
29	遠藤聰(東北)	1
29	高橋孔明(東六)	1
29	横浜翔太郎(多賀城)	1
29	庄司健人(中新田)	1
29	木村公則(多賀城)	1
29	村上一翔(塩釜)	1
29	斎藤耕太(塩釜)	1
29	古内秀明(教員)	1
29	渡邊裕太(東六)	1

2023年メンバー一覧



東北クラブ戦績一覧(2011.6~) 2021-12-07 18:04

No	年月日	相手	結果	場所
1	2011-06-12	南小泉ケニア	0-0 引分け	宮城広瀬G
2	2011-06-19	一高済美	1-1 引分け	中田中央G
3	2011-07-10	仙台FC	2-1 勝ち	中田中央G
4	2011-08-21	ACシルバーリー	0-0 引分け	宮城広瀬G
5	2011-09-18	FCロッソ	1-2 負け	宮城広瀬G
6	2011-10-02	OCT愛子	0-2 負け	県サカーフィールド
1	2012-04-01	南小泉ケニア	1-3 負け	宮城広瀬G
2	2012-04-15	桑原FC	1-1 PK負け	(社会人)県B
3	2012-05-13	東北大医学部	x流れ	(天皇杯)七ヶ浜G
4	2012-05-20	仙台FC	0-1 負け	(仙台リーグ)広瀬G
5	2012-05-27	東北大医学部	0-6 負け	(天皇杯)陶芸の里
6	2012-06-10	ACシルバーリー	2-2 引分け	(仙台リーグ)中田公園G
7	2012-06-24	FCロッソ	4-1 勝ち	(仙台リーグ)中田中央公園G
8	2012-07-01	SC75	0-1 負け	(社会人)ケニアチーム選手権)泉G
9	2012-07-08	OCT愛子	1-2 負け	(仙台リーグ)広瀬G
10	2012-07-15	宮工ケニア	2-3 負け	(仙台リーグ)利府県C
11	2012-08-12	SC75	5-0 勝ち	(仙台リーグ)
12	2012-09-02	一高済美	1-1 引分け	(仙台リーグ)色麻町愛宕山G
13	2012-09-23	FCプロレーベン	2-1 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
1	2013-04-07	仙台FC	1-1 引分け	(仙台リーグ)広瀬G 大雨・強風・
2	2013-04-14	OCT愛子	2-0 勝ち	(全国ケニアチーム選手権)松島G
3	2013-04-29	東北工大	4-1 勝ち	(天皇杯)泉東G
4	2013-05-05	七郷クラブ	2-2 PK6-5	(天皇杯)泉G
5	2013-05-19	宮城教員ケニア	1-3 負け	(社会人)仙台大G
6	2013-06-15	アリーナ松島	0-4 負け	(天皇杯)松島FC
7	2013-06-16	ケイマックス	6-0 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
8	2013-06-23	ケニアプロレーベン	1-0 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
9	2013-07-07	多賀城FC	3-0 勝ち	(全国ケニアチーム選手権)
10	2013-07-14	DUO PARK	1-2 負け	(全国ケニアチーム選手権)白石川IG
11	2013-08-04	ACシルバーリー	0-2 負け	(仙台リーグ)広瀬G
12	2013-08-18	OCT愛子	4-2 勝ち	(仙台リーグ)泉G
13	2013-09-08	仙台向山FC	6-1 勝ち	(仙台リーグ)中田中央G
14	2013-09-29	宮工ケニア	1-0 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
15	2013-10-13	広瀬FC	5-1 勝ち	(仙台リーグ)中田公園G
16	2013-10-20	FCロッソ	2-1 勝ち	(仙台リーグ)中田公園G
17	2013-11-17	田尻FC	3-3 引分け	(昇格選考)利府県C
18	2013-11-24	BOA SORTEさくら	5-1 勝ち	(昇格選考)利府県C
19	2013-11-30	BOA SORTEさくら	1-0 勝ち	(昇格選考)利府県A
20	2013-12-01	イズラエル登米FC	5-1 勝ち	(昇格選考)利府県A
1	2014-04-06	七郷クラブ	2-1 勝ち	(社会人)愛宕山公園G

東北クラブ戦績一覧(2011.6~) 2021-12-07 18:04

No	年月日	相手	結果	場所
2	2014-04-13	FC SENDAI	0-6 負け	(天皇杯)利府県C
3	2014-04-20	一高済美	5-1 勝ち	(県リーグ)
4	2014-05-11	多賀城FC	1-2 負け	(県リーグ)
5	2014-05-18	TOHOKU FC	2-2 PK.4-2	(社会人)
6	2014-05-25	登米SC	2-0 勝ち	(ケニアチーム)
7	2014-06-08	仙台sasuke FC	2-3 負け	(社会人)
8	2014-06-22	七郷クラブ	2-0 勝ち	(県リーグ)
9	2014-07-13	FCイズミ	3-2 勝ち	(県リーグ)
10	2014-07-20	中新田FC	1-2 負け	(ケニアチーム)
11	2014-08-17	多賀城FC	3-1 勝ち	(県リーグ)
12	2014-08-24	アリーナ桑原	2-3 負け	(県リーグ)
13	2014-08-31	一高済美	3-4 負け	(県リーグ)
14	2014-09-07	七郷クラブ	3-5 負け	(県リーグ)
15	2014-10-19	FCイズミ	8-1 勝ち	(県リーグ)
16	2014-11-02	アリーナ桑原	2-0 勝ち	(県リーグ)
17	2014-12-21	KEMONOin櫻木	0-2 負け	(入替戦)
1	2015-04-12	多賀城FC	3-0 勝ち	(県リーグ)
2	2015-04-19	塩釜NTSCガーデン	5-0 勝ち	(社会人)愛宕山公園G
3	2015-05-03	中新田SC	1-1 PK4-3	(天皇杯)松島フトボーセンタ-
4	2015-05-24	仙台大学FC	1-2 負け	(社会人)県A
5	2015-05-31	BOA SORTEさくら	1-2 負け	(県リーグ)七ヶ浜
6	2015-07-26	一高済美	1-2 負け	(県リーグ)アーバンG
7	2015-08-09	一高済美	4-1 勝ち	(ケニアチーム)県B
8	2015-08-16	リーサッカーケニア	0-3 負け	(ケニアチーム)県B
9	2015-08-23	六郷クラブ	3-1 勝ち	(県リーグ)松島総合G
10	2015-09-06	桑原FC	3-0 勝ち	(県リーグ)アーバンG
11	2015-09-27	BOA SORTEさくら	3-3 引分け	(県リーグ)松島フトボーセンタ-
12	2015-10-18	一高済美	4-1 勝ち	(県リーグ)県C
13	2015-11-01	桑原FC	0-2 負け	(県リーグ)県C
14	2015-11-08	六郷クラブ	1-2 負け	(県リーグ)県C
15	2015-11-15	多賀城FC	3-1 勝ち	(県リーグ)アーバンG
16	2015-12-21	東六ヶ島ノタルジア	0-3 負け	(県リーグ)入替戦
1	2016-04-10	FC SENDAI	2-3 負け	(県リーグ)県C
2	2016-04-17	南小泉ケニア	4-0 勝ち	(社会人)県A
3	2016-04-29	広瀬高専	9-1 勝ち	(天皇杯)アーバンG
4	2016-05-22	七郷クラブ	1-2 負け	(県リーグ)アーバンG
5	2016-05-29	東北大学学友会	0-6 負け	(天皇杯)松島フトボーセンタ-
6	2016-06-05	東六ヶ島ノタルジア	1-4 負け	(ケニアチーム)県C
7	2016-06-12	アリーナ松島	1-1 負け	(社会人)県C
8	2016-07-10	桑原FC	0-1 負け	(県リーグ)アーバンG

東北クラブ戦績一覧(2011.6~) 2021-12-07 18:04

No	年月日	相手	結果	場所
9	2016-07-17	多賀城FC	1-2 負け	(県リーグ)松島FB
10	2016-07-24	一高済美	3-0 勝ち	(県リーグ)松島FB
11	2016-08-14	田尻FC	4-1 勝ち	(県リーグ)県B
12	2016-08-21	一高済美	5-0 勝ち	(県リーグ)松島FB
13	2016-08-28	七郷クラブ	0-2 負け	(県リーグ)県C
14	2016-09-11	桑原FC	0-1 負け	(県リーグ)アデイダスG
15	2016-09-18	田尻FC	2-1 勝ち	(県リーグ)松島FB
16	2016-10-02	多賀城FC	5-2 勝ち	(県リーグ)県C
17	2016-11-06	FC SENDAI	1-6 負け	(県リーグ)ひとめぼれ補助
1	2017-04-16	塩釜NTSCガイゼ	0-6 負け	(県リーグ)ひとめぼれ補助
2	2017-04-23	一高済美	0-0 PK6-5	(クラブチーム)松島フットボルセンター
3	2017-04-30	登米SC	6-2 勝ち	(社会人)陶芸の里
4	2017-05-07	FC SENDAI	0-3 負け	(社会人)陶芸の里
5	2017-05-14	多賀城FC	2-1 勝ち	(県リーグ)松島フットボルセンター
6	2017-05-21	七郷クラブ	1-2 負け	(県リーグ)七ヶ浜
7	2017-05-28	パソアピーブル白石	3-2 勝ち	(県リーグ)松島フットボルセンター
8	2017-06-25	南小泉ケニア	1-1 引分け	(県リーグ)松島フットボルセンター
9	2017-07-09	東北福祉大	0-4 負け	(天皇杯)松島フットボルセンター
10	2017-07-16	リニーサッカーチーム	0-1 負け	(クラブチーム)松島フットボルセンター2
11	2017-08-13	パソアピーブル白石	0-1 負け	(県リーグ)県C
12	2017-09-10	南小泉ケニア	4-3 勝ち	(県リーグ)松島運動公園
13	2017-09-17	KEMONOin楳木	2-0 勝ち	(県リーグ)県C
14	2017-09-24	KEMONOin楳木	2-1 勝ち	(県リーグ)アディダス・スポーツ・ツバーカー
15	2017-10-01	七郷クラブ	0-1 負け	(県リーグ)色麻町愛宕山サッカーゴール
16	2017-11-12	多賀城FC	0-1 負け	(県リーグ)松島運動公園
17	2017-11-19	塩釜NTSCガイゼ	0-5 負け	(県リーグ)アディダス・スポーツ・ツバーカー
1	2018-04-08	七郷ケニア	3-1 勝ち	(県リーグ)ひとめぼれ補助
2	2018-04-15	FC SENDAI2	0-1 負け	(県リーグ)アディダス・スポーツ・ツバーカー
3	2018-04-22	田尻FC	6-0 勝ち	(県リーグ)アディダス・スポーツ・ツバーカー
4	2018-04-29	リコ-イダストリ-東北	0-2 負け	(社会人)めぐみ野C
5	2018-05-06	クラブアリゲン	11-0 勝ち	(県リーグ)アディダス・スポーツ・ツバーカー
6	2018-05-20	マリ川松島SC	2-2 引分け	(県リーグ)めぐみ野C
7	2018-06-17	仙台大原学園	7-3 勝ち	(天皇杯)めぐみ野A
8	2018-07-15	六郷ケニア	1-2 負け	(クラブチーム)めぐみ野C
9	2018-07-22	KEMONOin楳木	0-2 負け	(県リーグ)めぐみ野C
10	2018-09-02	南小泉ケニア	2-3 負け	(県リーグ)松島FBC2
11	2018-09-16	七郷ケニア	2-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
12	2018-09-23	マリ川松島SC	1-2 負け	(県リーグ)七ヶ浜サッカースタジアム
13	2018-09-30	FC SENDAI2	1-1 引分け	(県リーグ)松島FBC2
14	2018-10-14	田尻FC	0-4 負け	(県リーグ)めぐみ野C

東北クラブ戦績一覧(2011.6~) 2021-12-07 18:04

No	年月日	相手	結果	場所
15	2018-11-04	南小泉ケニア	3-2 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
16	2018-11-25	FC SENDAI univ.	0-11 負け	(天皇杯)ひとめぼれ補助
17	2018-12-02	KEMONOin楳木	0-0 引分け	(県リーグ)ひとめぼれ補助
1	2019-04-07	マリ川松島SC	0-4 負け	(県リーグ)松島運動公園
2	2019-04-14	宮工ケニア	0-5 負け	(県リーグ)松島FBC1
3	2019-04-21	FC Sendai Wolfie	0-7 負け	(社会人)登米東和運動公園
4	2019-04-28	六郷ケニア	1-2 負け	(県リーグ)めぐみ野C
5	2019-05-05	塩釜FCガイゼ	1-1 引分け	(県リーグ)七ヶ浜サッカースタジアム
6	2019-05-12	BOA SORTEさくら	4-1 勝ち	(クラブチーム)松島運動公園
7	2019-06-09	東六ヶニアノタルジア	0-4 負け	(クラブチーム)アイス角田G
8	2019-07-14	KEMONOin楳木	6-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
9	2019-07-28	愛子FC	3-2 勝ち	(県リーグ)めぐみ野A
10	2019-08-18	田尻FC	3-2 勝ち	(県リーグ)松島FBC2
11	2019-09-01	マリ川松島SC	1-0 勝ち	(県リーグ)アディダス・スポーツ・ツバーカー
12	2019-09-15	塩釜FCガイゼ	1-3 負け	(県リーグ)めぐみ野C
13	2019-09-22	宮工ケニア	0-0 引分け	(県リーグ)めぐみ野C
14	2019-09-29	KEMONOin楳木	4-3 勝ち	(県リーグ)松島FBC2
15	2019-10-06	六郷ケニア	1-4 負け	(県リーグ)めぐみ野C
16	2019-10-20	愛子FC	5-3 勝ち	(県リーグ)アディダス・スポーツ・ツバーカー
17	2019-11-10	田尻FC	2-2 引分け	(県リーグ)色麻町愛宕山サッカーゴール
1	2020-07-12	田尻FC	2-3 負け	(クラブチーム)アディダス・スポーツ・ツバーカー
2	2020-08-23	登米SC	2-3 負け	(県リーグ)登米東和運動公園
3	2020-09-06	田尻FC	1-2 負け	(県リーグ)松島FBC1
4	2020-09-20	SC75	1-6 負け	(県リーグ)登米東和運動公園
5	2020-10-04	マリ川松島SC	0-1 負け	(県リーグ)松島FBC1
6	2020-10-25	中新田SC	1-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
7	2020-11-08	KEMONOin楳木	0-2 負け	(県リーグ)アディダス・スポーツ・ツバーカー
8	2020-11-22	六郷ケニア	1-3 負け	(県リーグ)めぐみ野C
1	2021-05-23	一高済美	5-0 勝ち	(社会人)松島FBC2
2	2021-05-30	白石クラブ	1-0 勝ち	(社会人)女川第2
3	2021-06-20	ARDORE桑原	0-2 負け	(社会人)色麻町愛宕山サッカーゴール
4	2021-06-27	南小泉ケニア	3-0 勝ち	(クラブチーム)めぐみ野C
5	2021-07-04	SC75	1-3 負け	(県リーグ)アディダス・スポーツ・ツバーカー
6	2021-07-18	マリ川松島SC	0-2 負け	(クラブチーム)松島FBC2
7	2021-10-03	中新田SC	3-1 勝ち	(県リーグ)松島FBC1
7	2021-10-10	Sendai Universitat	0-3 負け	(県リーグ)アディダス・スポーツ・ツバーカー
9	2021-10-17	六郷ケニア	4-0 勝ち	(県リーグ)色麻町愛宕山サッカーゴール
10	2021-10-31	田尻FC	2-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
11	2021-11-14	KEMONOin楳木	不戦勝	
12	2021-11-28	登米SC	4-1 勝ち	(県リーグ)アディダス・スポーツ・ツバーカー

東北クラブ戦績一覧(2011.6~) 2024-01-15 20:16

No	年月日	相手	結果	場所
1	2022-04-10	六郷ケフ	5-1 勝ち	(県リーグ)アメイダス・スポーツパーク
2	2022-05-08	リニーサッカーカラフ	1-0 勝ち	(県リーグ)松島運動公園
3	2022-05-15	登米SC	5-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
4	2022-05-22	KEMONOin楢木	2-1 勝ち	(県リーグ)松島FBC2
5	2022-06-19	バンフーム-白石	1-0 勝ち	(県リーグ)松島FBC1
6	2022-06-26	六郷ケフ	7-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野A
7	2022-07-03	田尻FC	4-1 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
8	2022-07-10	リニーサッカーカラフ	4-0 勝ち	(県リーグ)鳥の海運動公園
9	2022-08-07	中新田SC	1-0 勝ち	(県リーグ)松島FBC1
10	2022-08-28	ラシスピルクルーピ	4-1 勝ち	(県リーグ)鳥の海運動公園
11	2022-09-18	バンフーム-白石	2-2 引分け	(県リーグ)鳥の海運動公園
12	2022-10-02	AYASHI.FC	3-4 負け	(県リーグ)めぐみ野C
13	2022-10-16	KEMONOin楢木	1-3 負け	(県リーグ)めぐみ野C
14	2022-10-23	中新田SC	3-2 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
15	2022-10-30	AYASHI.FC	延期	
16	2022-11-06	登米SC	3-1 勝ち	(県リーグ)登米東和運動公園
17	2022-11-20	ラシスピルクルーピ	4-2 勝ち	(県リーグ)ひとめぼれ補助
18	2022-11-27	田尻FC	不戦勝	
1	2023-01-22	AYASHI.FC	4-1 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
2	2023-04-02	多賀城FC	2-3 負け	(県リーグ)鳥の海運動公園
3	2023-04-09	教員クラブ	0-2 負け	(県リーグ)めぐみ野B
4	2023-04-23	BOA SORTEさくら	0-1 負け	(社会人)鳥の海運動公園
5	2023-05-07	SC75	5-0 勝ち	(県リーグ)鳥の海運動公園
6	2023-05-14	仙台FC	0-0 PK5-4	(クラブチーム)めぐみ野C
7	2023-06-11	仙台中田SC	2-2 引分け	(県リーグ)鳥の海運動公園
8	2023-06-25	中新田SC	1-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
9	2023-07-02	東六ケフノスタイルジア	1-1 PK7-8	(クラブチーム)鳥の海運動公園
10	2023-07-23	SC75	2-0 勝ち	(県リーグ)アイスオーヤG
11	2023-08-13	東六ケフノスタイルジア	5-2 勝ち	(県リーグ)めぐみ野B
12	2023-08-20	塩釜FCグイセ	2-1 勝ち	(県リーグ)鳥の海運動公園
13	2023-08-27	塩釜FCグイセ	8-0 勝ち	(県リーグ)鳥の海運動公園
14	2023-09-10	仙台中田SC	不戦敗	
15	2023-09-24	東六ケフノスタイルジア	3-2 勝ち	(県リーグ)松島FBC1
16	2023-10-01	多賀城FC	3-0 勝ち	(県リーグ)松島FBC1
17	2023-10-15	教員クラブ	1-2 負け	(県リーグ)アメイダス・スポーツパーク
18	2023-10-29	中新田SC	0-1 負け	(県リーグ)鳥の海運動公園

196

2024年2月2日 初版発行

製作者 鈴木修平
 発行所 東北(トンペイ)クラブ
 〒981-0944
 仙台市青葉区子平町11-12
 電 話 022-273-5114